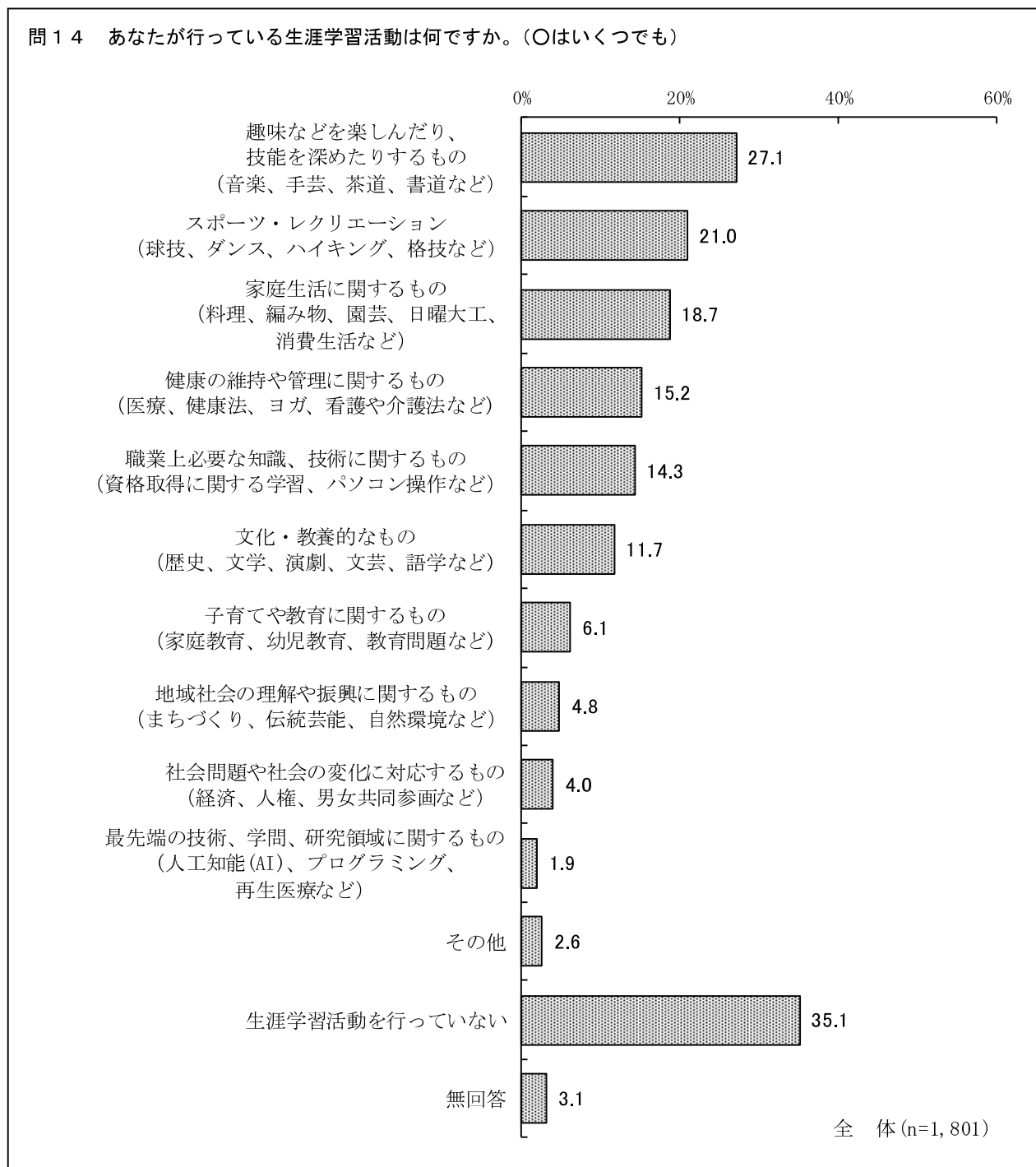


### 3. 生涯を通じた学習について

#### (1) 行っている生涯学習活動



「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの」が最も多い

#### 【全体結果】

行っている生涯学習活動については、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」(27.1%)の割合が最も高くなっている。以下、「スポーツ・レクリエーション(球技、ダンス、ハイキング、格技など)」(21.0%)、「家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など)」(18.7%)、「健康の維持や管理に関するもの(医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など)」(15.2%)が続いている。

## 【属性別結果】（図 3-1 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」については、秋葉区（34.5%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」、「家庭生活に関するもの（料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など）」、「健康の維持や管理に関するもの（医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など）」の割合は、女性（それぞれ 29.3%、21.6%、19.0%）の方が男性（それぞれ 24.1%、14.5%、9.9%）よりも高くなっている。「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」と「職業上必要な知識、技術に関するもの（資格取得に関する学習、パソコン操作など）」の割合は、男性（それぞれ 26.3%、18.6%）が女性（それぞれ 17.2%、11.4%）よりも高くなっている。

### ③ 年齢別

「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」は 18～29 歳と 70～74 歳（それぞれ 25.4%、26.1%）が、「職業上必要な知識、技術に関するもの（資格取得に関する学習、パソコン操作など）」は 18～29 歳と 30 代（それぞれ 23.2%、24.0%）が、「子育てや教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」は 30 代（17.6%）が、「家庭生活に関するもの（料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など）」は 70～74 歳と 75 歳以上（それぞれ 25.5%、24.2%）が、それぞれ他年齢層よりも高くなっている。

一方、「生涯学習活動を行っていない」では 40 代（41.6%）と 60～64 歳（42.3%）の割合が高く、4割を超えている。

図3-1 行っている生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 1/2

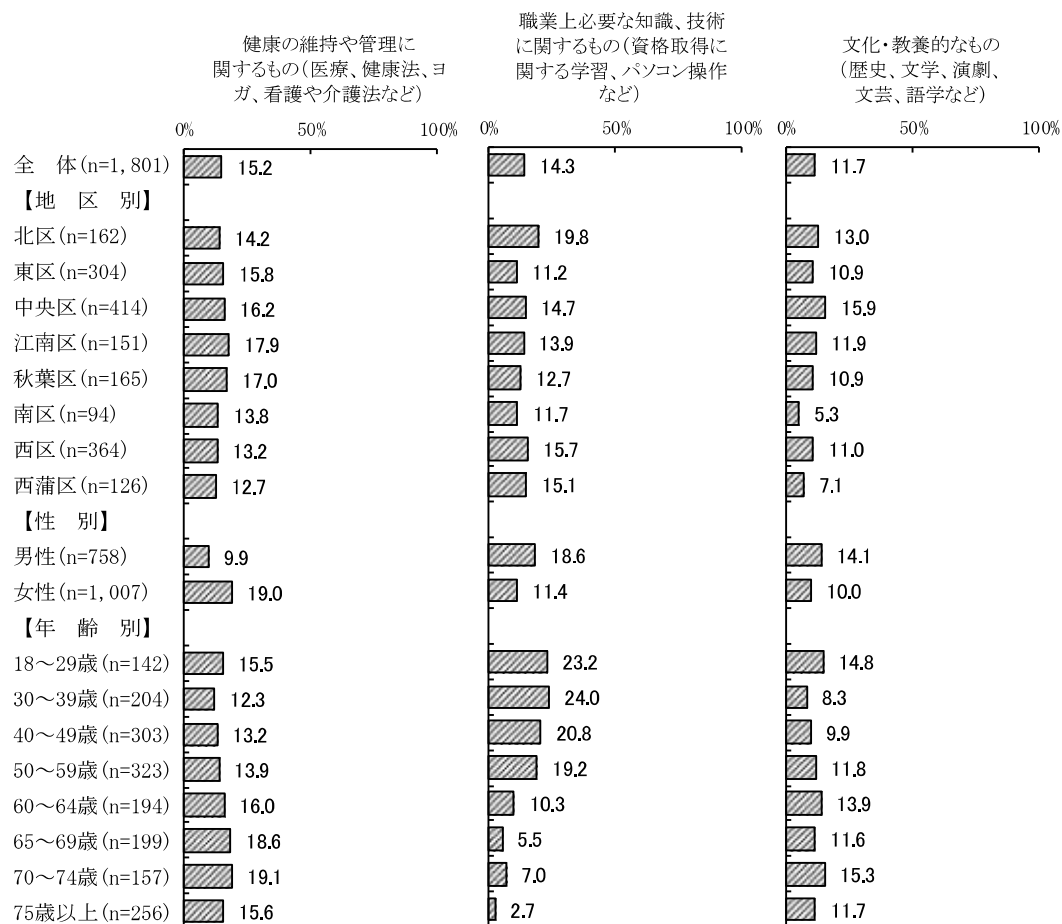
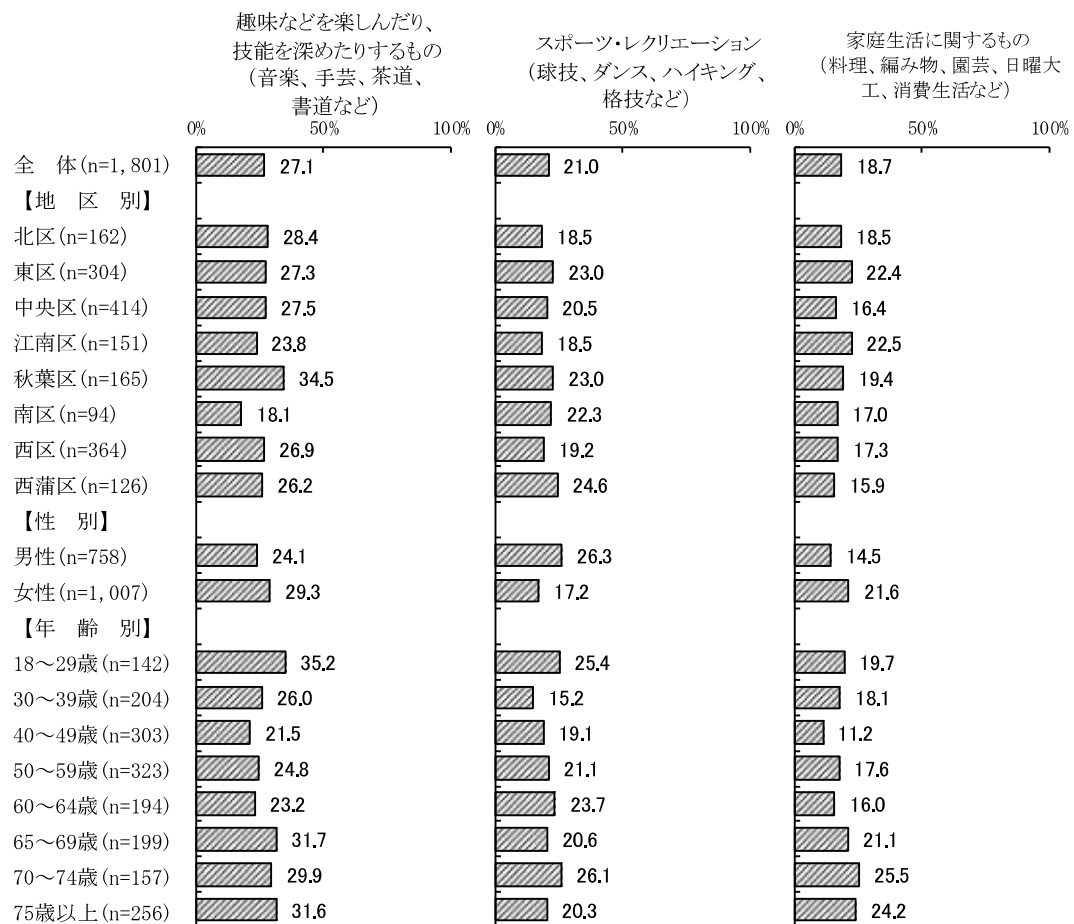
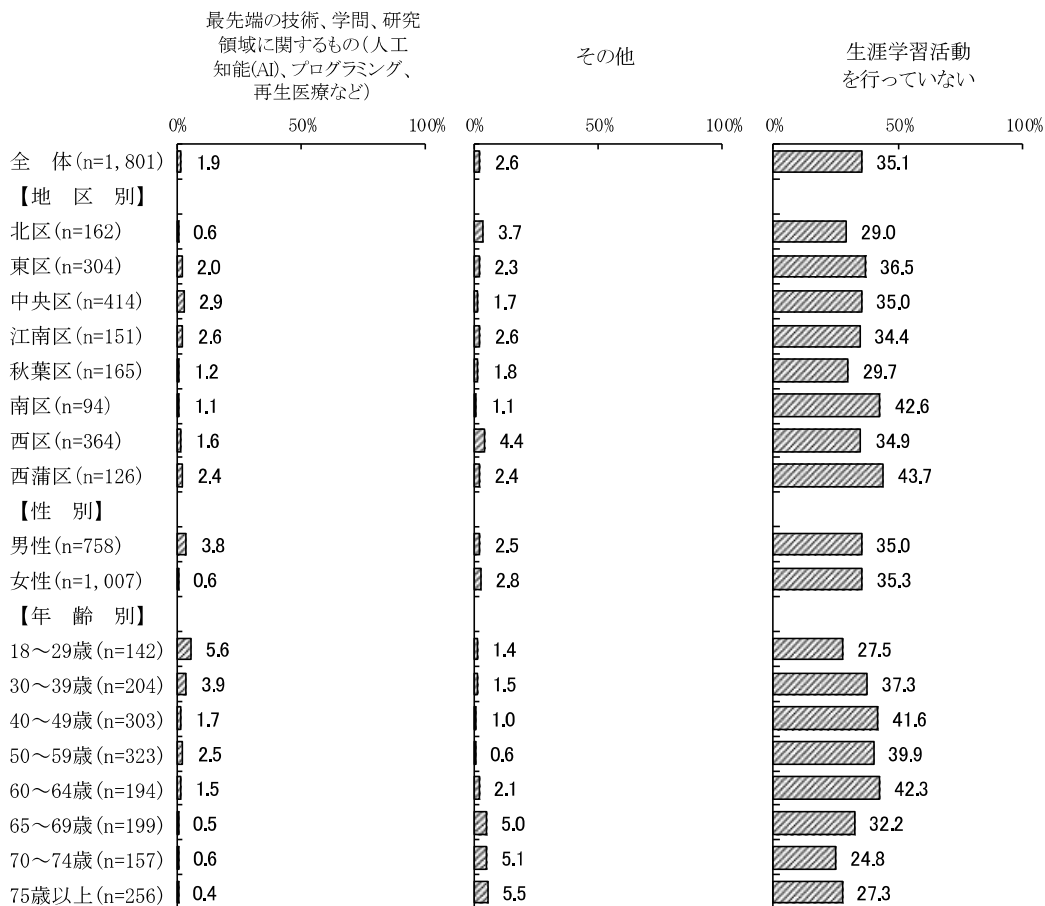
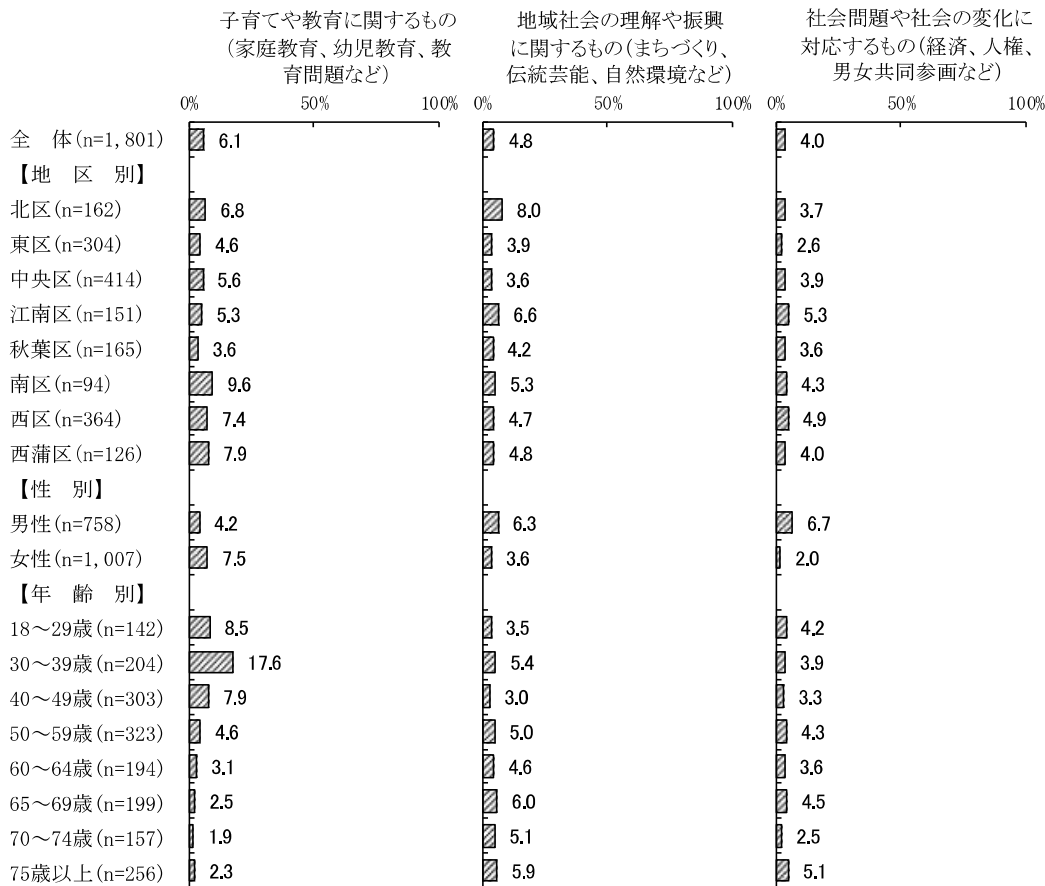
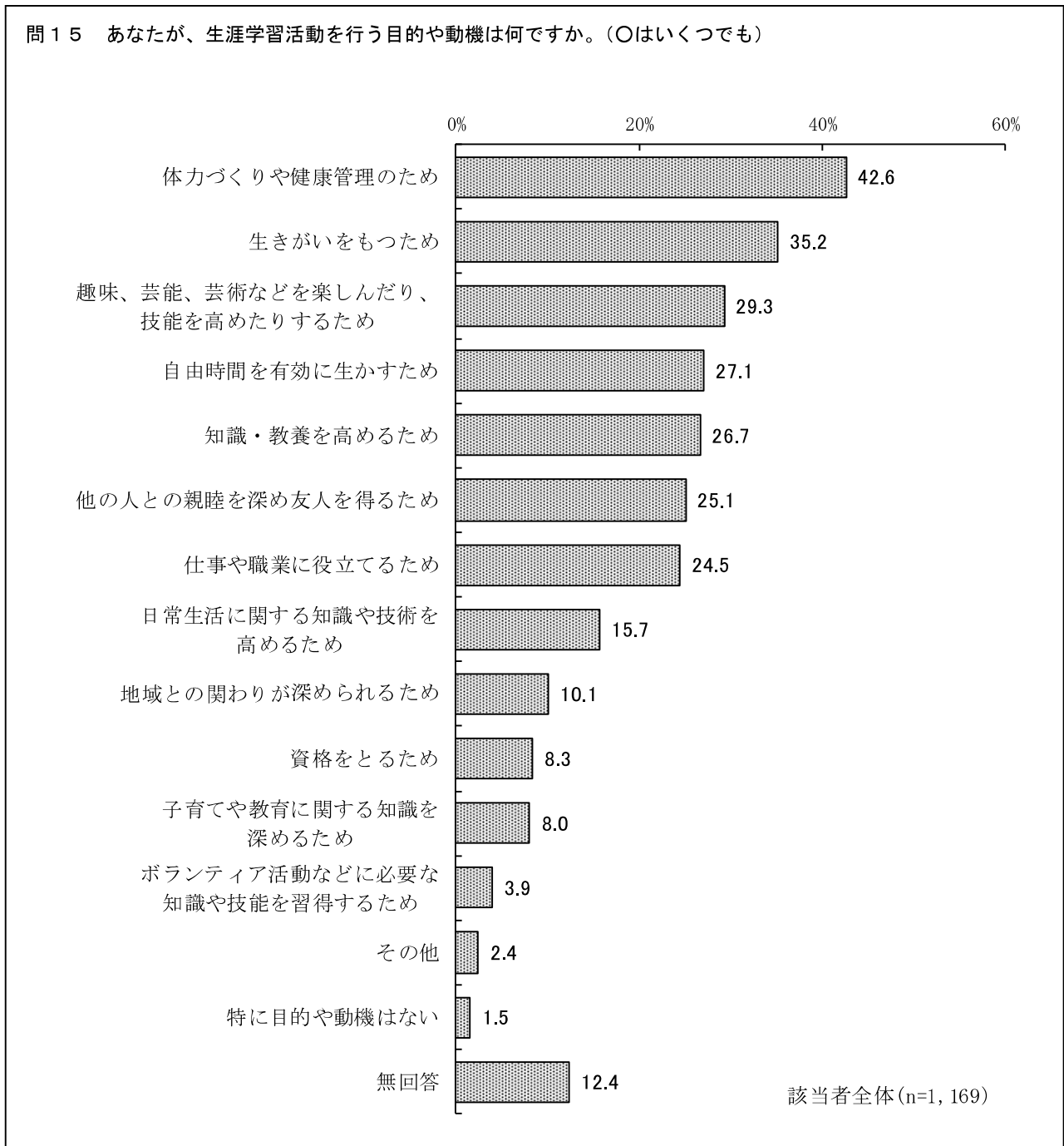


図3-1 行っている生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 2/2



## (2) 生涯学習活動を行う目的



「体力づくりや健康管理のため」が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

### 【全体結果】

生涯学習を行う目的や動機については、「体力づくりや健康管理のため」(42.6%)の割合が最も高い。以下、「生きがいをもつため」(35.2%)が3割台で、「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」(29.3%)、「自由時間を有効に生かすため」(27.1%)、「知識・教養を高めるため」(26.7%)、「他の人との親睦を深め友人を得るため」(25.1%)、「仕事や職業に役立てるため」(24.5%)が2割台が続いている。

## 【属性別結果】（図 3-2 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「体力づくりや健康管理のため」については、南区（53.7%）の割合が最も高く、半数以上となっている。

### ② 性別

「知識・教養を高めるため」と「仕事や職業に役立てるため」の割合は、男性（それぞれ 32.7%、29.6%）の方が女性（それぞれ 22.5%、20.7%）よりも高くなっている。「自由時間を有効に生かすため」、「他の人との親睦を深め友人を得るため」、「子育てや教育に関する知識を深めるため」の割合は、男性（それぞれ 29.4%、28.5%、10.6%）が女性（それぞれ 24.3%、21.3%、4.7%）よりも高くなっている。

### ③ 年齢別

「自由時間を有効に生かすため」「仕事や職業に役立てるため」「資格をとるため」は 18～29 歳（それぞれ 33.0%、47.6%、20.4%）が、「知識・教養を高めるため」「子育てや教育に関する知識を深めるため」は 30 代（それぞれ 37.5%、26.6%）が、「体力づくりや健康管理のため」は 60～64 歳と 70～74 歳（それぞれ 52.7%、52.5%）が、「生きがいをもつため」は 60～64 歳と 70～74 歳（それぞれ 42.0%、42.4%）が、「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」は 60～64 歳（35.7%）が、「他の人との親睦を深め友人を得るため」は 65 歳以上が、それぞれ高くなっている。

一方、「特に目的や動機はない」では 30 代（3.9%）の割合がやや高くなっている。

図3-2 生涯学習活動を行う目的（地区別／性別／年齢別） 1/3

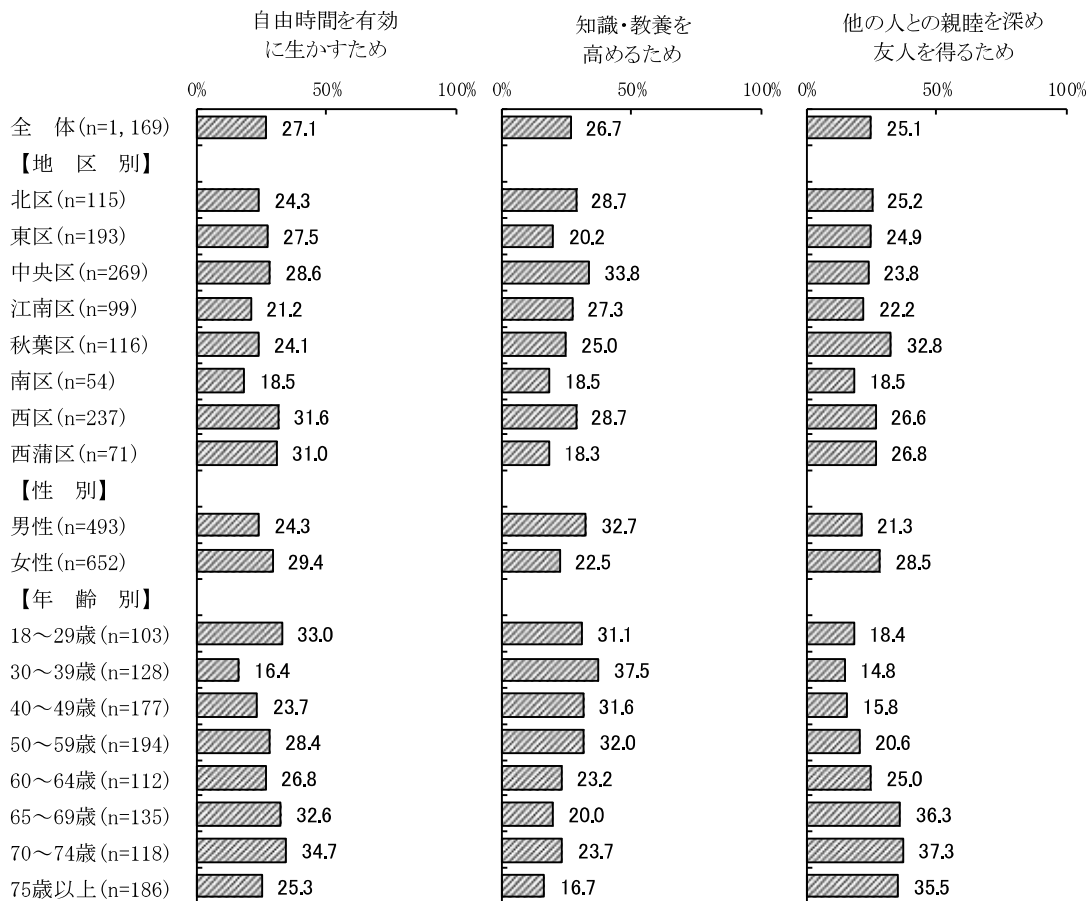
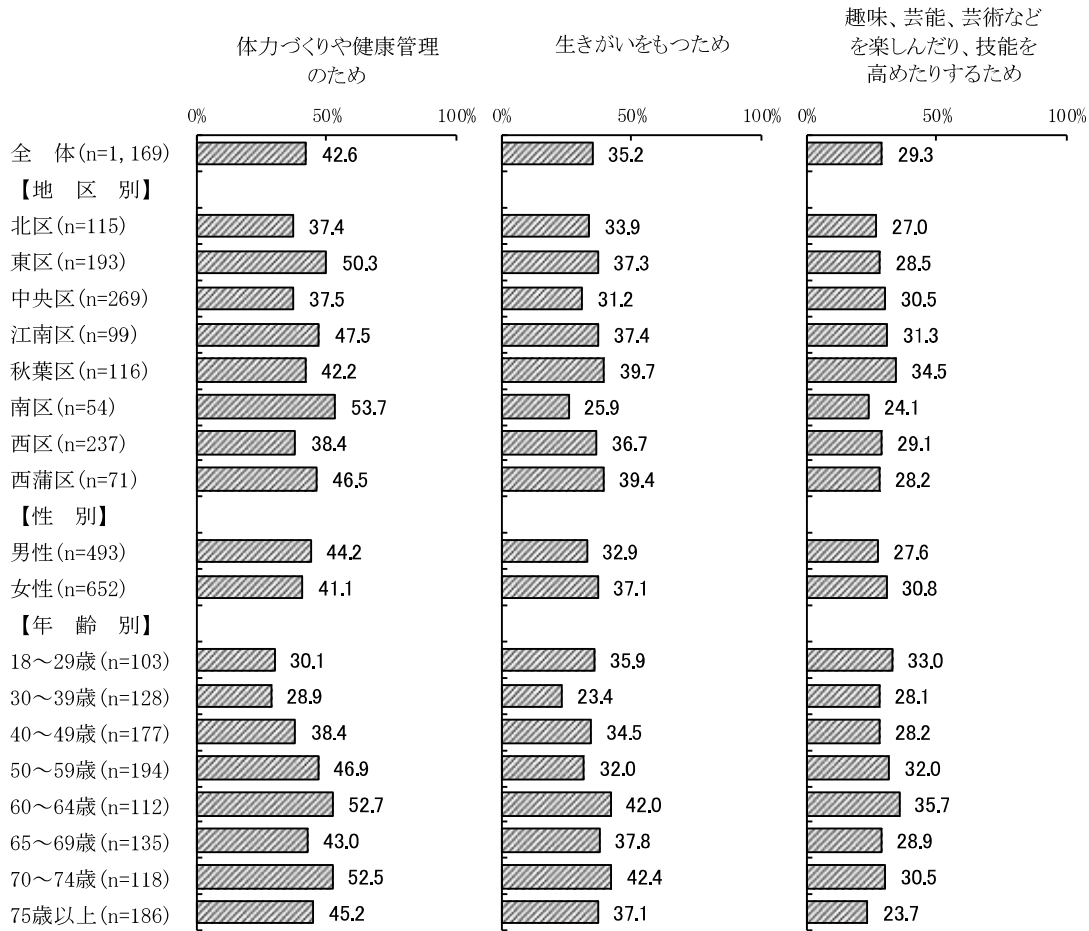


図3-2 生涯学習活動を行う目的（地区別／性別／年齢別） 2/3

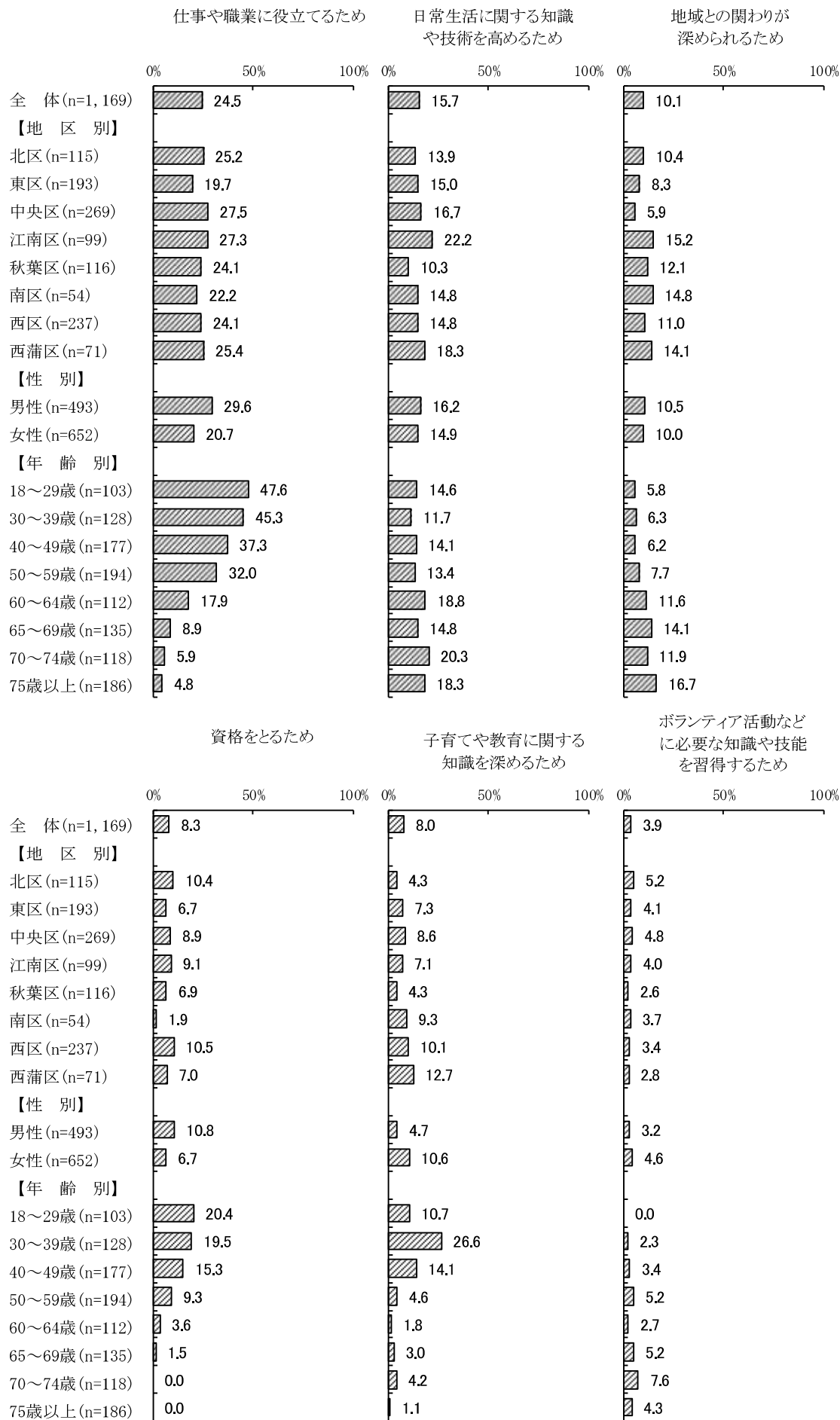
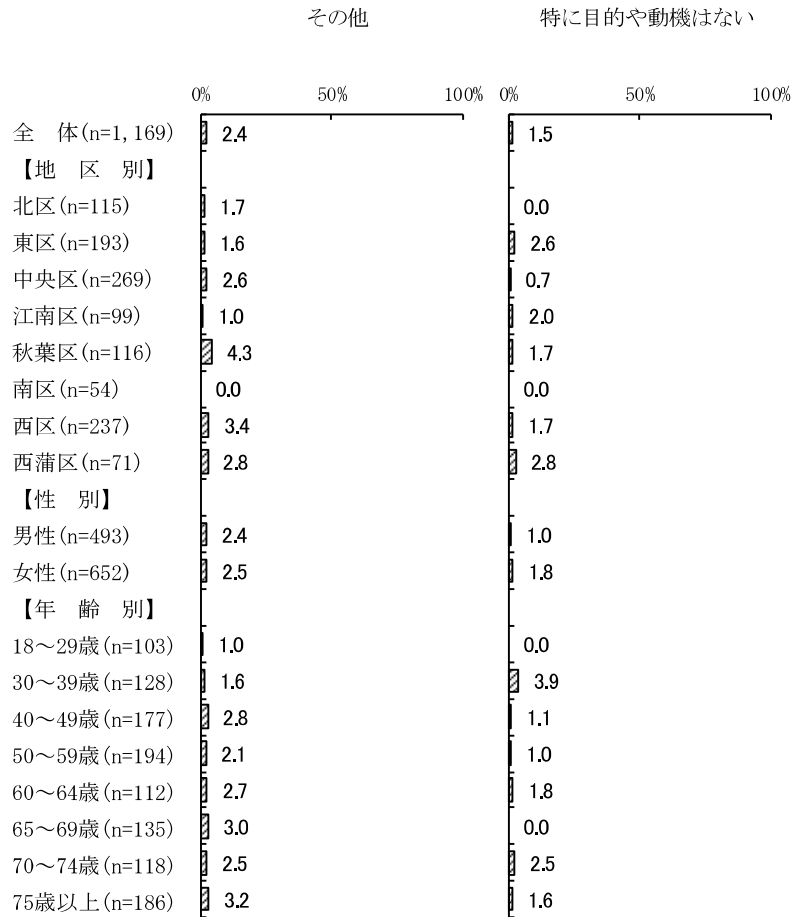
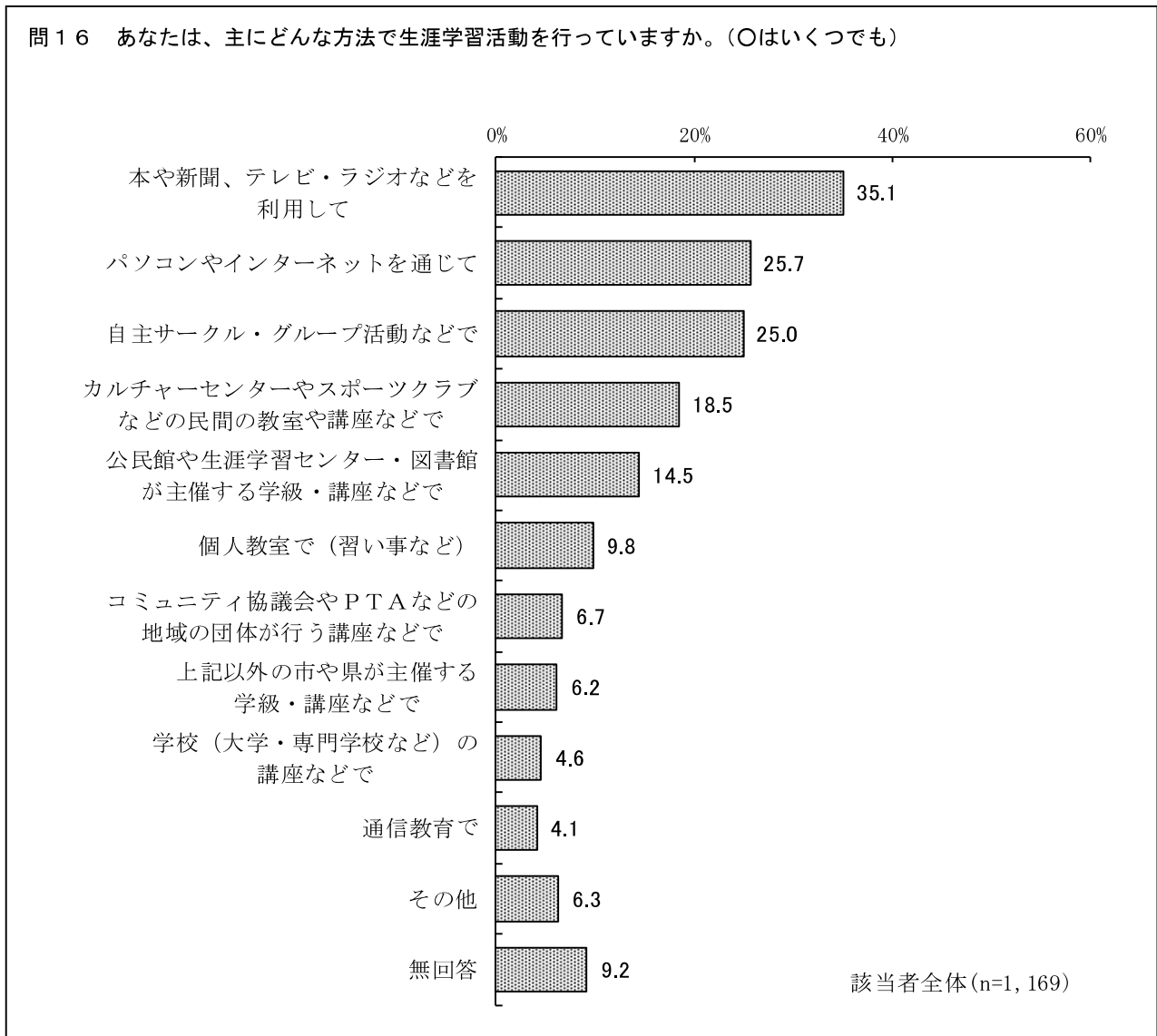




図3-2 生涯学習活動を行う目的（地区別／性別／年齢別） 3/3



### (3) 生涯学習活動を行う方法



「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

#### 【全体結果】

生涯学習活動を行う方法については、「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」(35.1%)の割合が最も高い。以下、「パソコンやインターネットを通じて」(25.7%)、「自主サークル・グループ活動などで」(25.0%)が2割台、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」(18.5%)、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」(14.5%)が1割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 3-3 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」については、江南区（38.4%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」「パソコンやインターネットを通じて」では、男性（それぞれ 40.6%、34.1%）が女性（それぞれ 31.0%、19.8%）を上回っている。「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」、「個人教室で（習い事など）」では、女性（それぞれ 24.2%、17.8%、13.8%）が男性（それぞれ 11.2%、10.3%、4.5%）を上回っている。

### ③ 年齢別

「学校（大学・専門学校など）の講座などで」は 18～29 歳（19.4%）が、「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」「パソコンやインターネットを通じて」は 30 代（それぞれ 39.1%、53.1%）が、「自主サークル・グループ活動などで」「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」は 60～64 歳（それぞれ 31.3%、30.4%）が、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」は 65 歳以上が 2 割台、それぞれ高くなっている。

図3-3 生涯学習活動を行う方法（地区別／性別／年齢別） 1/2

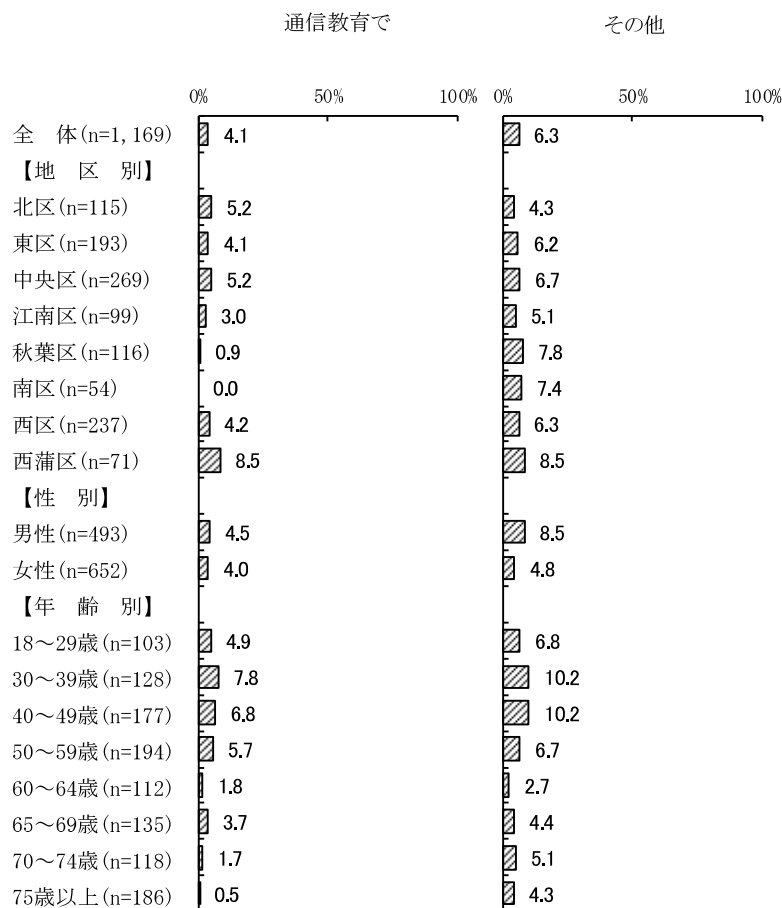
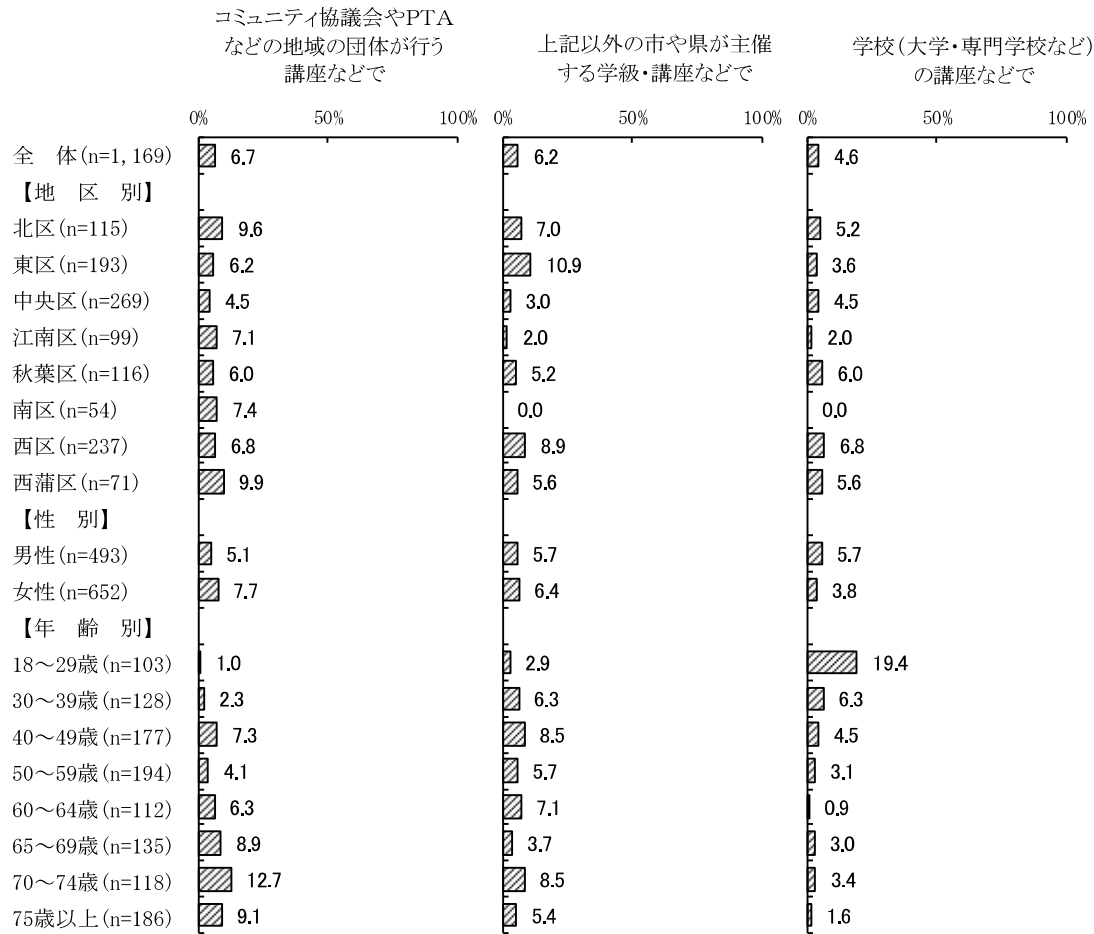
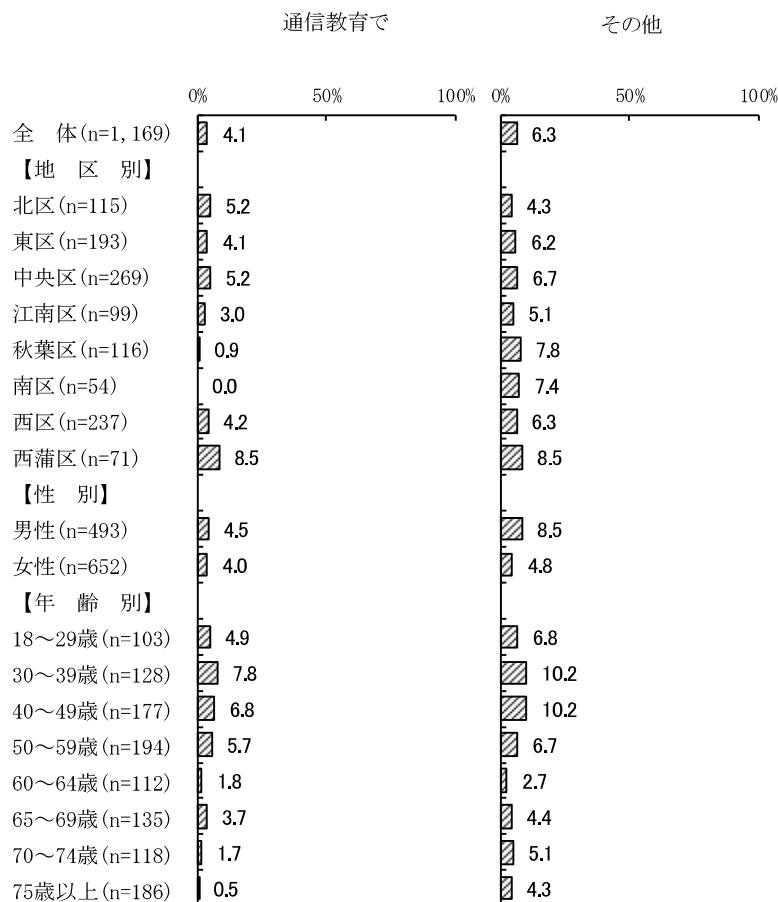
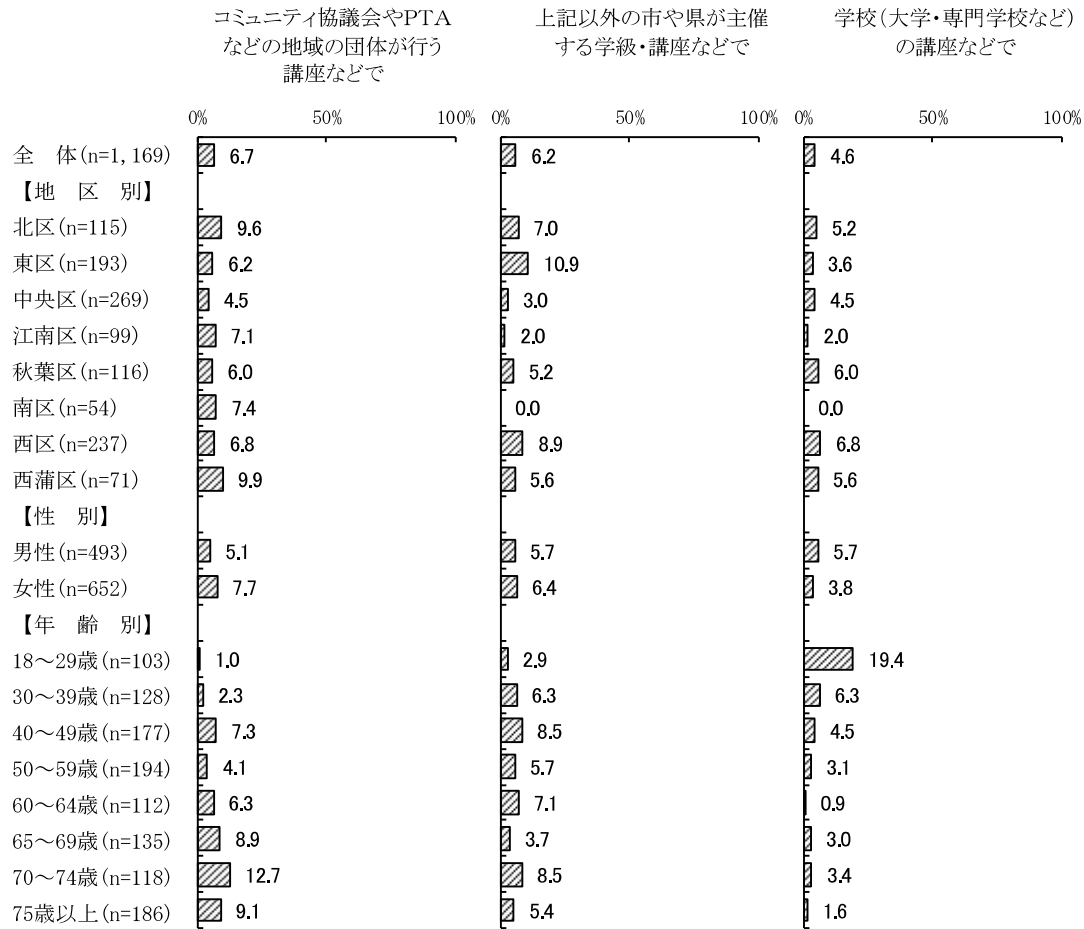
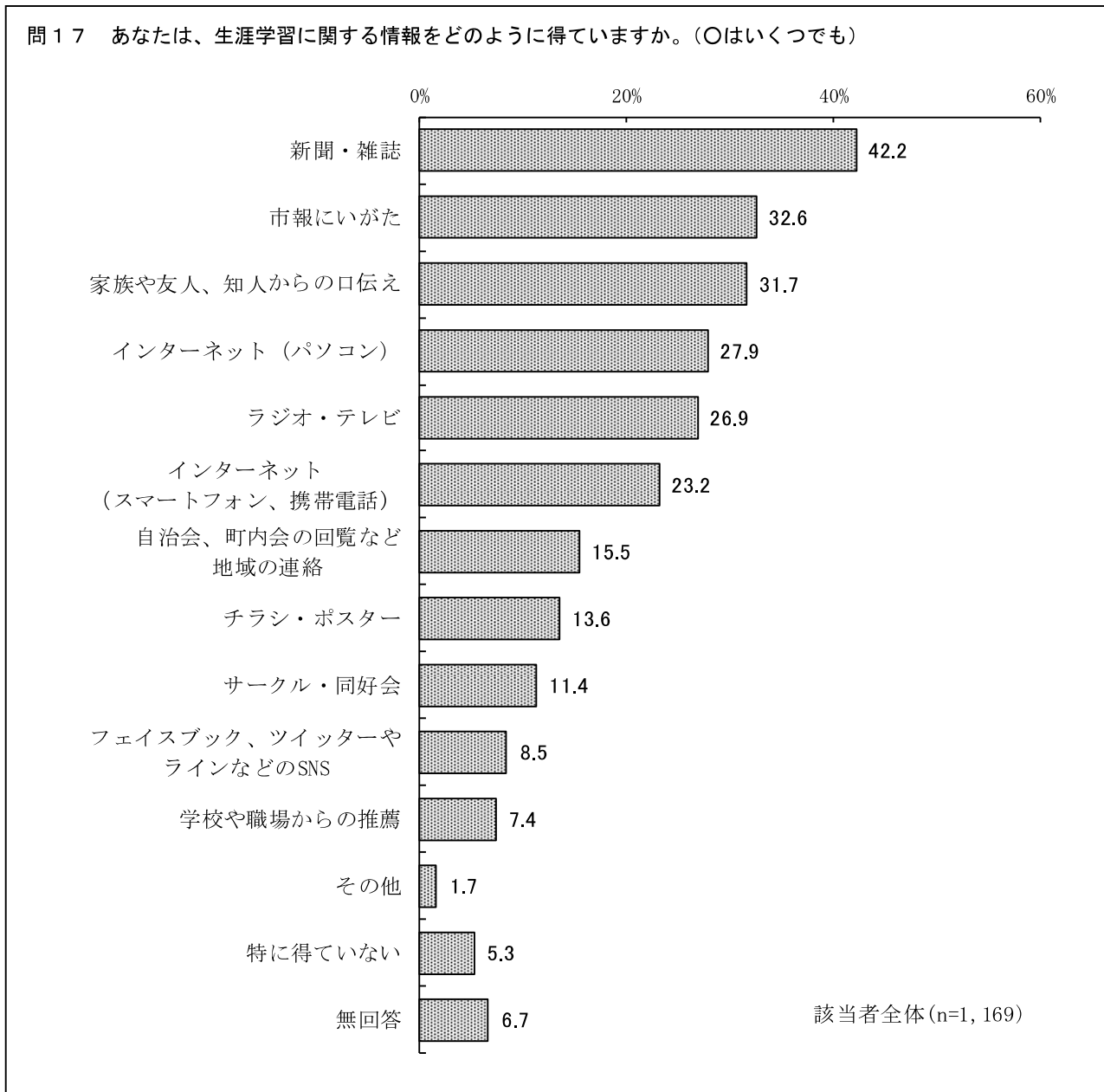


図3-3 生涯学習活動を行う方法（地区別／性別／年齢別） 2/2



#### (4) 生涯学習に関する情報の入手方法



#### 「新聞・雑誌」と回答が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

#### 【全体結果】

生涯学習に関する情報の入手方法については、「新聞・雑誌」(42.2%)の割合が最も高く、4割を超えている。次いで、「市報にいがた」(32.6%)、「家族や友人、知人からの口伝」(31.7%)が3割台、「インターネット(パソコン)」(27.9%)、「ラジオ・テレビ」(26.9%)、「インターネット(スマートフォン、携帯電話)」(23.2%)が2割台が続いている。

## 【属性別結果】（図 3-4 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「新聞・雑誌」については、中央区（45.0%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「市報にいがた」「家族や友人、知人からの口伝え」「チラシ・ポスター」では、女性（それぞれ 39.3%、37.3%、16.6%）が男性（24.1%、24.5%、9.7%）を上回っている。「インターネット（スマートフォン、携帯電話）」では、男性（37.9%）が女性（20.2%）を大きく上回っている。

### ③ 年齢別

「インターネット（パソコン）」「インターネット（スマートフォン、携帯電話）」は 40 歳以下が高く、また、「フェイスブック、ツイッターやラインなどの SNS」「学校や職場からの推薦」は 30 歳以下が高く、他年齢層を大きく上回っている。一方、「新聞・雑誌」「市報にいがた」「自治会、町内会の回覧など地域の連絡」は 65 歳以上が、他年齢層よりも高くなっている。

一方、「特に得ていない」では 30 代（9.4%）の割合がやや高くなっている。

図3-4 生涯学習に関する情報の入手方法（地区別／性別／年齢別） 1/3

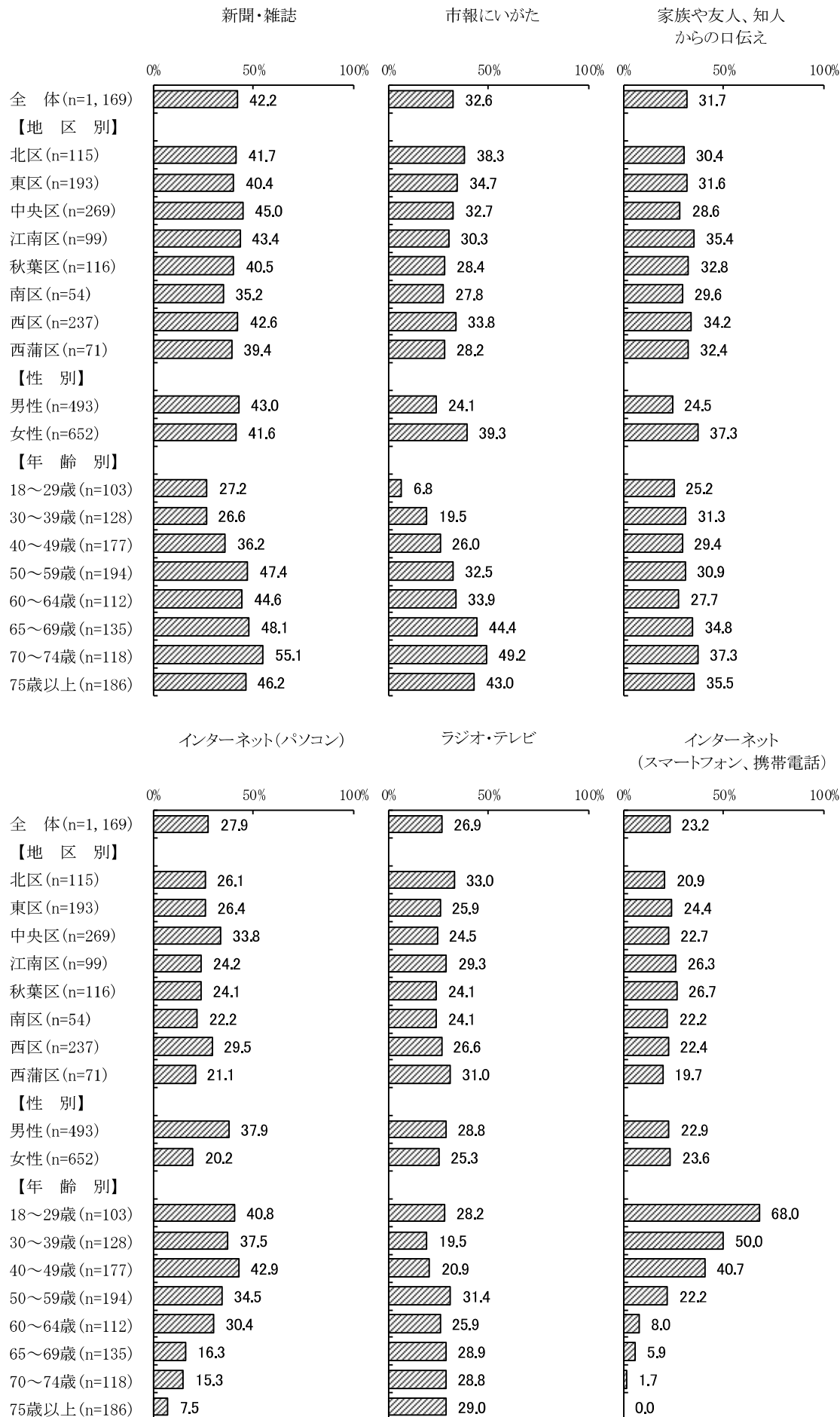




図3-4 生涯学習に関する情報の入手方法（地区別／性別／年齢別） 2/3

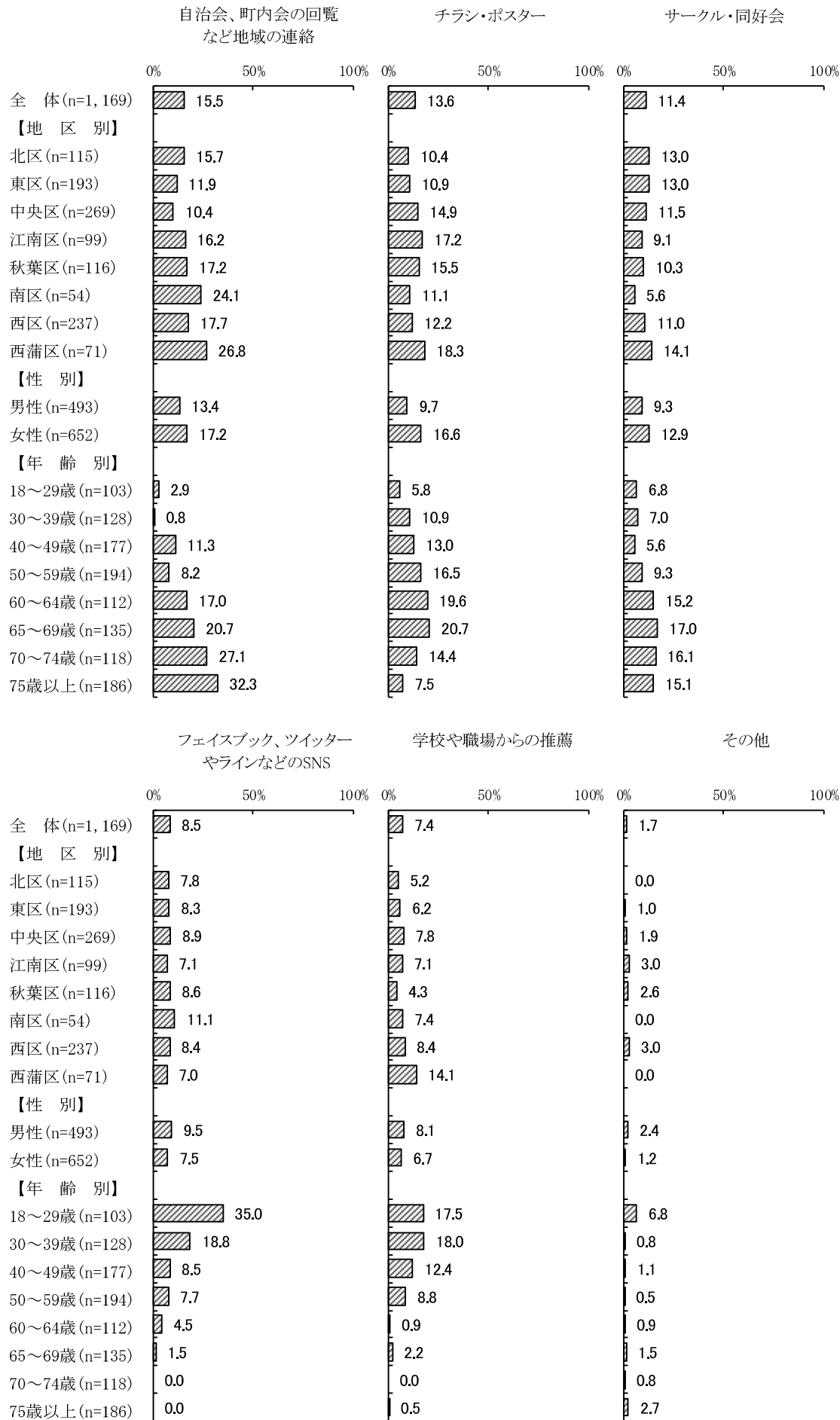
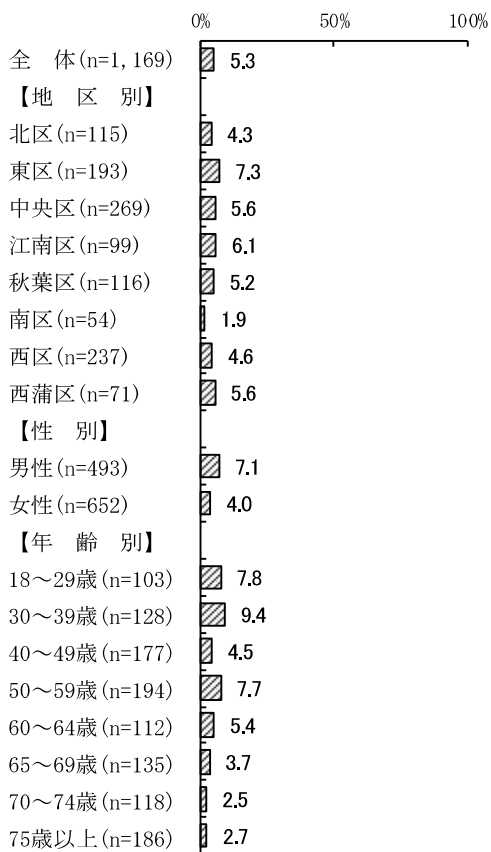
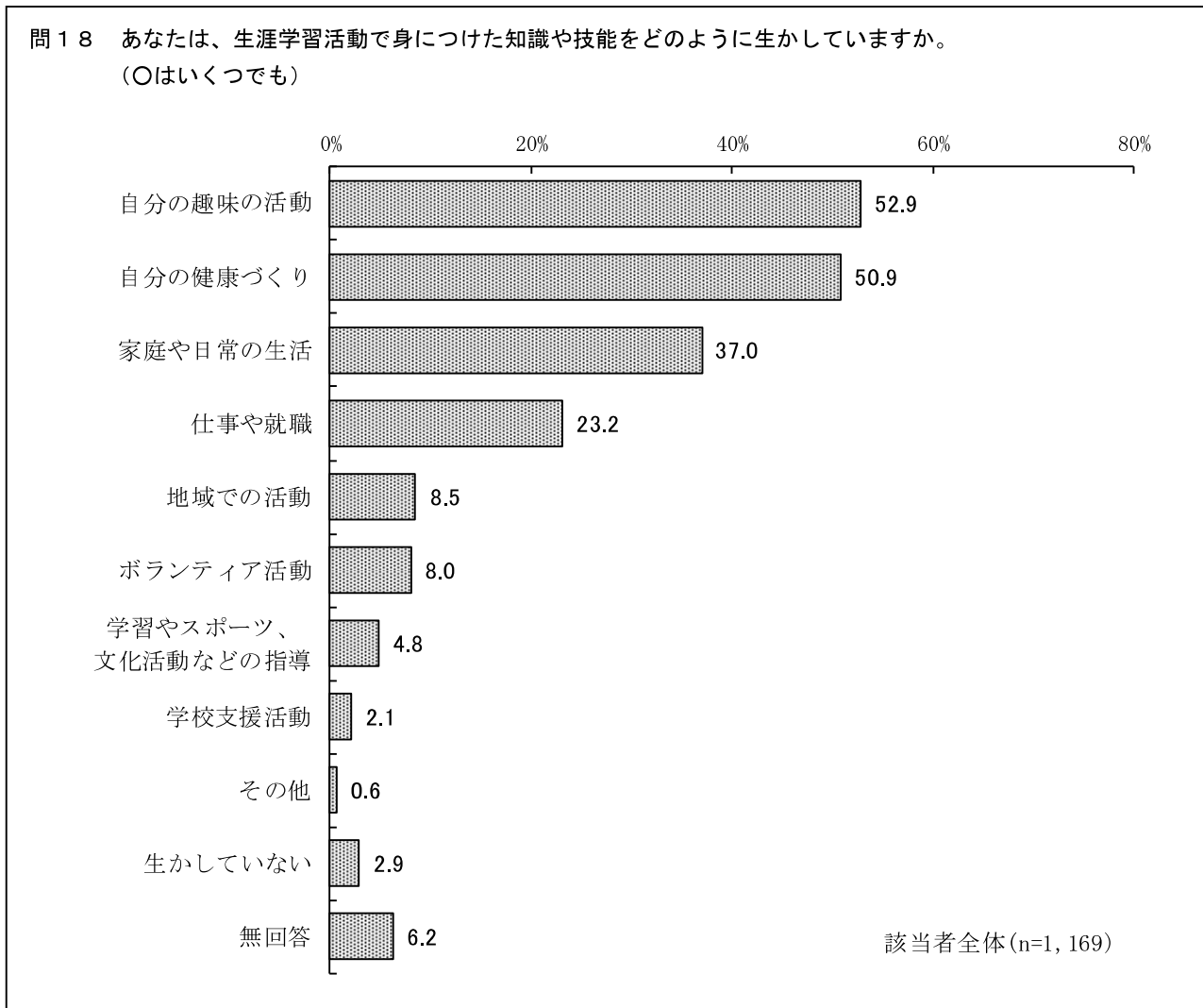


図3-4 生涯学習に関する情報の入手方法（地区別／性別／年齢別） 3/3

特に得ていない



(5) 生涯学習活動で身につけた知識について



— 「自分の趣味の活動」「自分の健康づくり」へ生かしていることが半数以上 —

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

【全体結果】

生涯学習活動で身につけた知識を「自分の趣味の活動」(52.9%)に生かしていることが多く、半数以上となっている。これに「自分の健康づくり」(50.9%)が僅差で続いている。以下、「家庭や日常生活」(37.0%)が3割台、「仕事や就職」(23.2%)が2割台となっている。

## 【属性別結果】（図 3-5 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「自分の趣味の活動」については、東区（57.5%）の割合が最も高くなっている。また、「自分の健康づくり」では、南区（63.0%）の割合が高く、6割を超えている。

### ② 性別

「自分の趣味の活動」、「仕事や就職」、「学習やスポーツ、文化活動などの指導」では、いずれも男性（58.4%、28.2%、8.1%）が女性（48.5%、19.6%、2.3%）を上回り、「家庭や日常の生活」と「仕事や就職」では、いずれも女性（53.5%、42.3%）が男性（47.5%、30.2%）を上回っている。

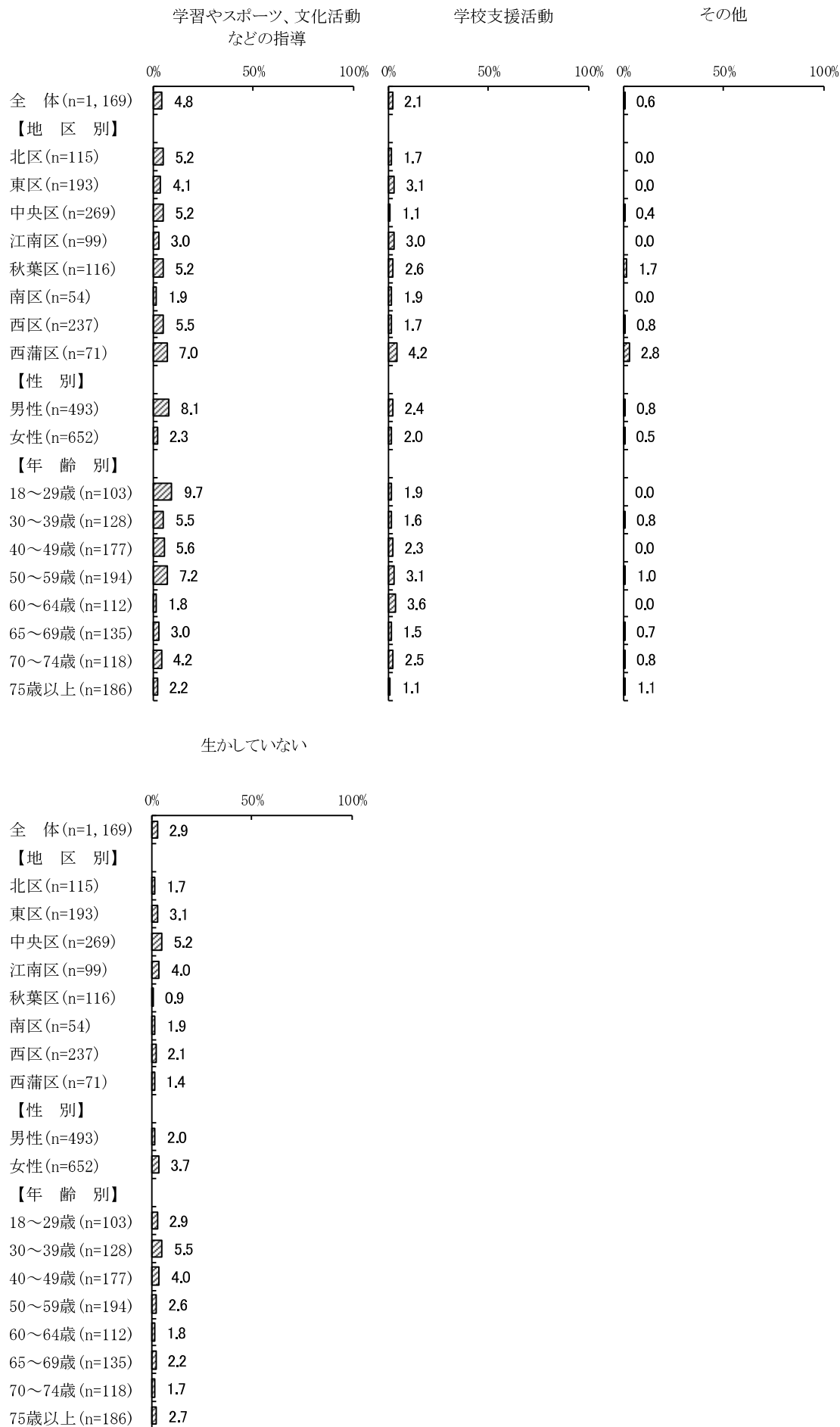
### ③ 年齢別

「自分の趣味の活動」は18～29歳（68.0%）の割合が最も高く、「仕事や就職」は40代以下が高く、中でも30代（47.7%）では4割台となっている。一方、「自分の健康づくり」の割合は60歳以上が6割を超え、他年齢層を大きく上回っている。

一方、「生かしていない」では30代（5.5%）の割合がやや高くなっている。

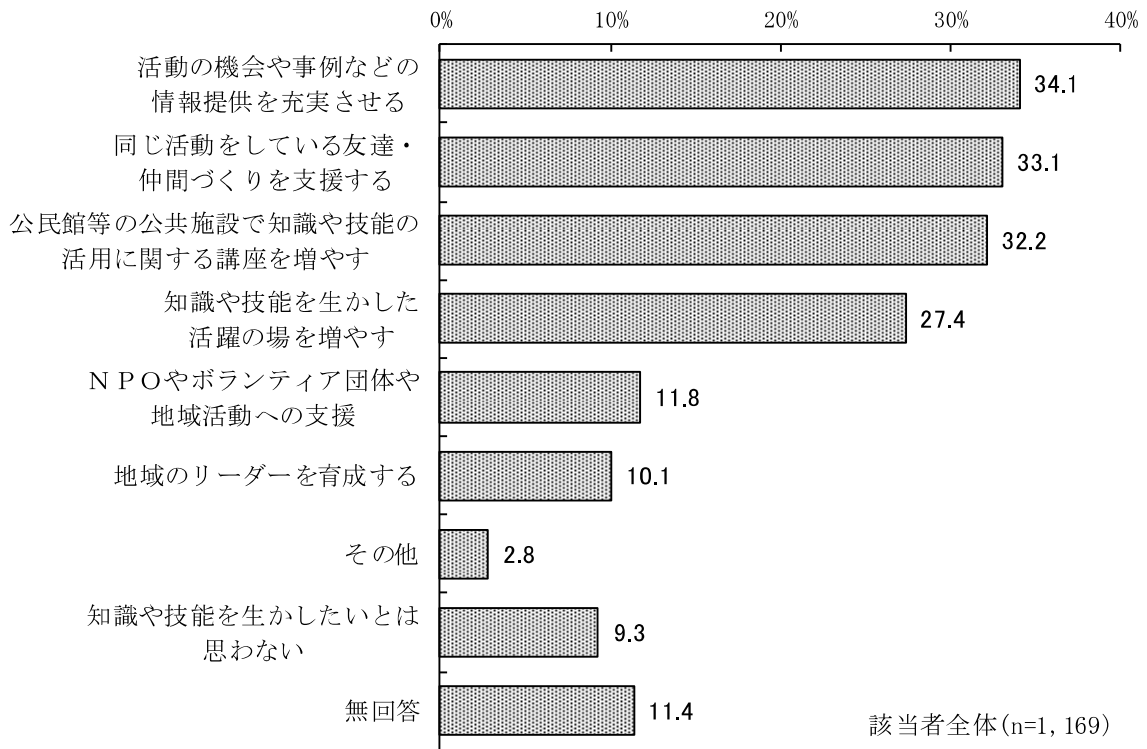


図3-5 生涯学習活動で身につけた知識について（地区別／性別／年齢別） 2/2



(6) 生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきこと

問19 市は、学習成果を生かす循環型生涯学習を推進しており、学習したことや技能を生かす生涯学習ボランティアに関心がある方を対象に、入門講座等を開催しています。あなたがこれまで学んだ知識や技能をボランティア活動・学校支援や地域活動に生かすために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

【全体結果】

生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきことについては、「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」(34.1%)の割合が最も高くなっている。以下、「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」(33.1%)、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を増やす」(32.2%)が3割台、「知識や技能を生かした活躍の場を増やす」(27.4%)が2割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 3-6 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」については、中央区（38.7%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」は男性（37.7%）が女性（29.8%）を上回り、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を増やす」では女性（35.9%）が男性（27.4%）を上回っている。

### ③ 年齢別

「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」は40代以下が高く、4割前後を占めている。「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」は30代以下と65～69歳が高く、4割前後を占めている。「知識や技能を生かした活躍の場を増やす」は40代以下が高く、3割台となっている。「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を増やす」「NPOやボランティア団体や地域活動への支援」は60～64歳（それぞれ41.1%、16.1%）が、「地域のリーダーを育成する」は65～69歳と70～74歳（それぞれ15.6%、15.3%）が、それぞれ高くなっている。

一方、「知識や技能を生かしたいとは思わない」では、60～64歳の割合が最も高くなっている。



図3-6 生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきこと（地区別/性別/年齢別）

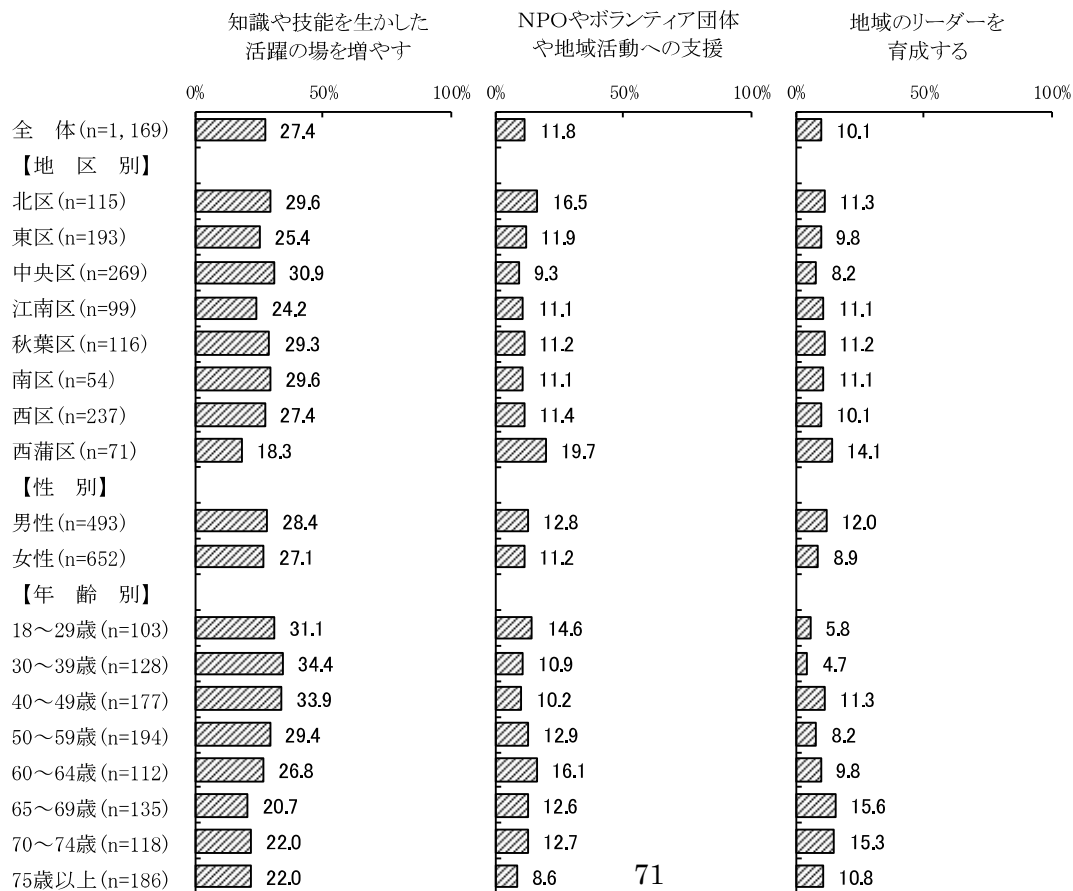
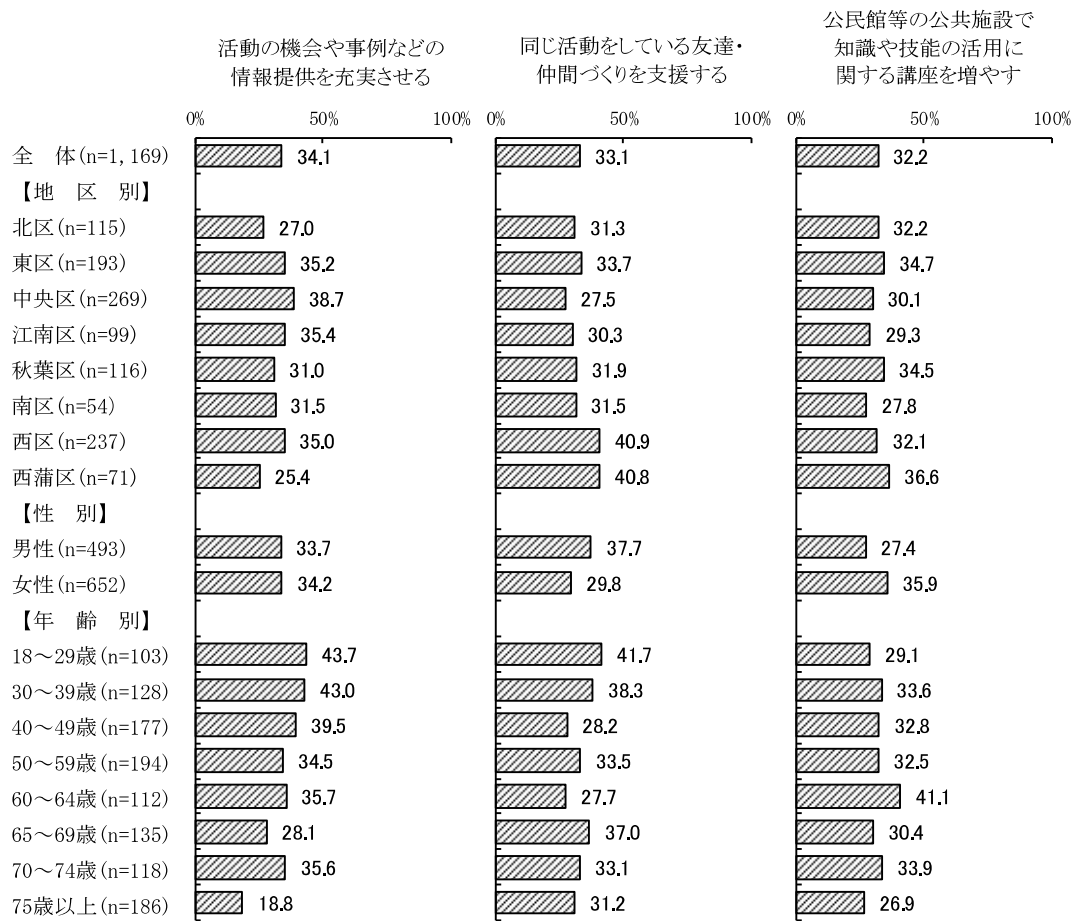
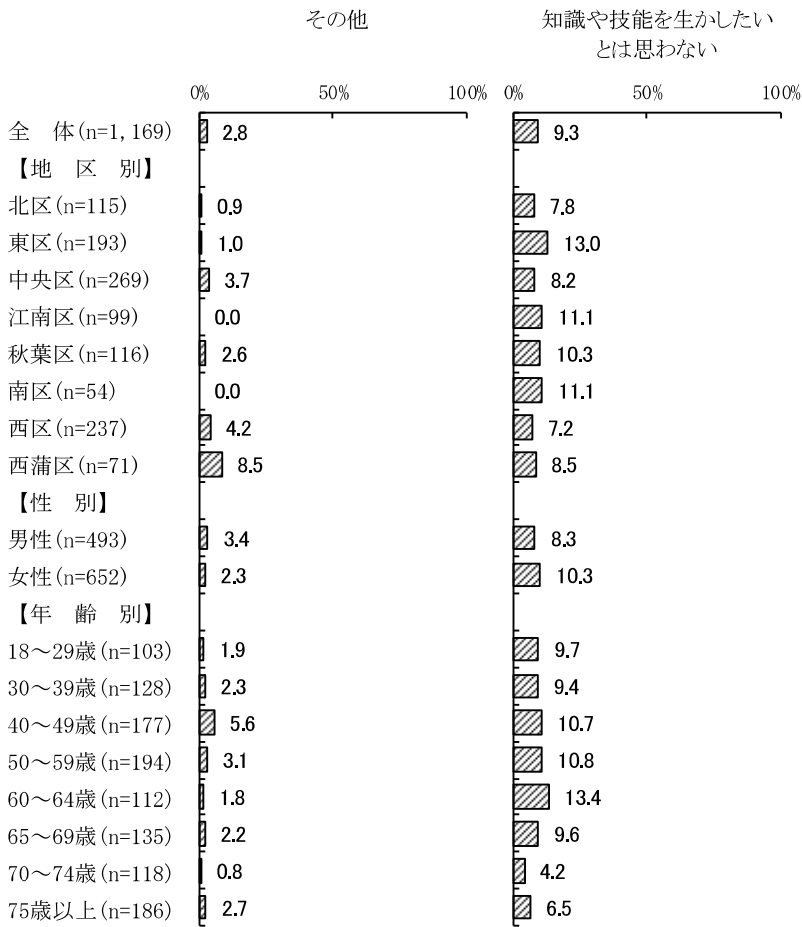
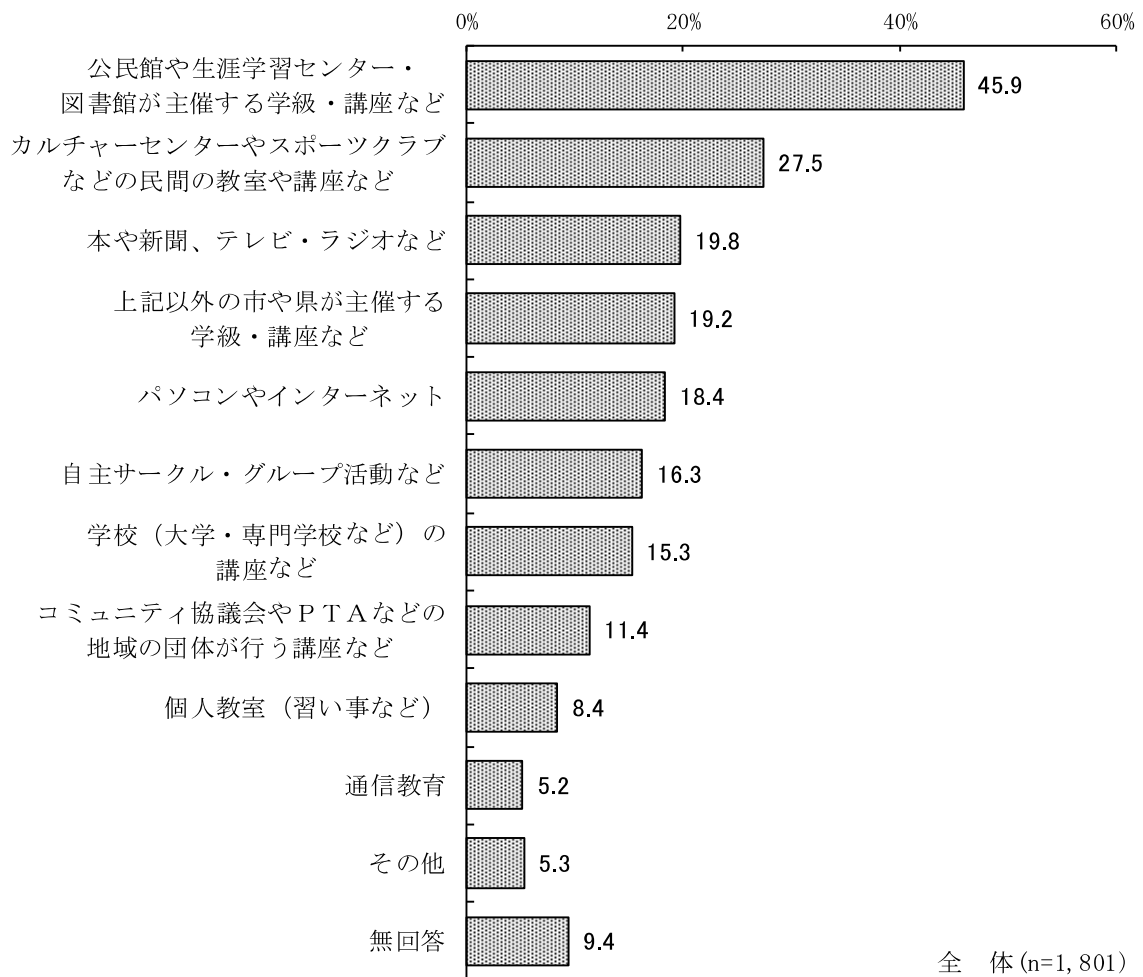


図3-6 生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきこと（地区別／性別／年齢別）



(7) 充実してほしい学習の場や学習方法

問20 新潟市において、どのような学習機会の場や学習方法が充実すればよいと思いますか。  
(○はいくつでも)



— 「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」が最も多い —

【全体結果】

新潟市に充実してほしい学習機会の場や学習方法については、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」(45.9%)の割合が最も高くなっている。以下、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座など」(27.5%)が2割台、「本や新聞、テレビ・ラジオなど」(19.8%)、「上記以外の市や県が主催する学級・講座など」(19.2%)、「パソコンやインターネット」(18.4%)、「自主サークル・グループ活動など」(16.3%)、「学校（大学・専門学校など）の講座など」(15.3%)、「コミュニティ協議会やPTAなどの地域の団体が行う講座など」(11.4%)が1割台が続いている。

## 【属性別結果】（図 3-7 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」については、西区（53.6%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」「上記以外の市や県が主催する学級・講座など」「個人教室（習い事など）」、いずれも女性が男性を上回っている。

### ③ 年齢別

「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座など」「上記以外の市や県が主催する学級・講座など」「パソコンやインターネット」「自主サークル・グループ活動など」「学校（大学・専門学校など）の講座など」は 18～29 歳（それぞれ 38.7%、26.8%、33.1%、20.4%、27.5%）が、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」は 60～64 歳（54.1%）が、「コミュニティ協議会や P T A などの地域の団体が行う講座など」は 65～69 歳（17.6%）が、「本や新聞、テレビ・ラジオなど」は 70 歳以上が、「個人教室（習い事など）」は 18～29 歳と 75 歳以上（それぞれ 12.7%、12.5%）が、それぞれ高くなっている。

図3-7 充実してほしい学習の場や学習方法（地区別／性別／年齢別） 1/2

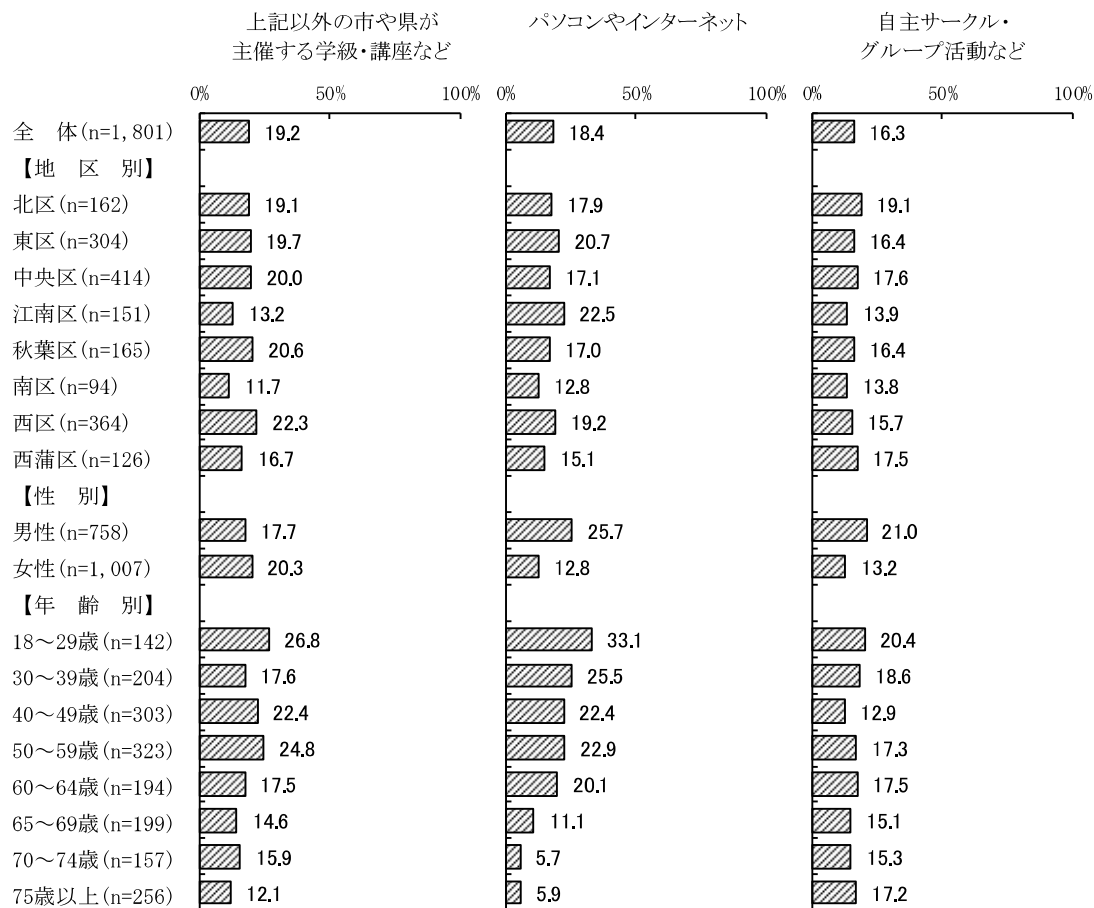
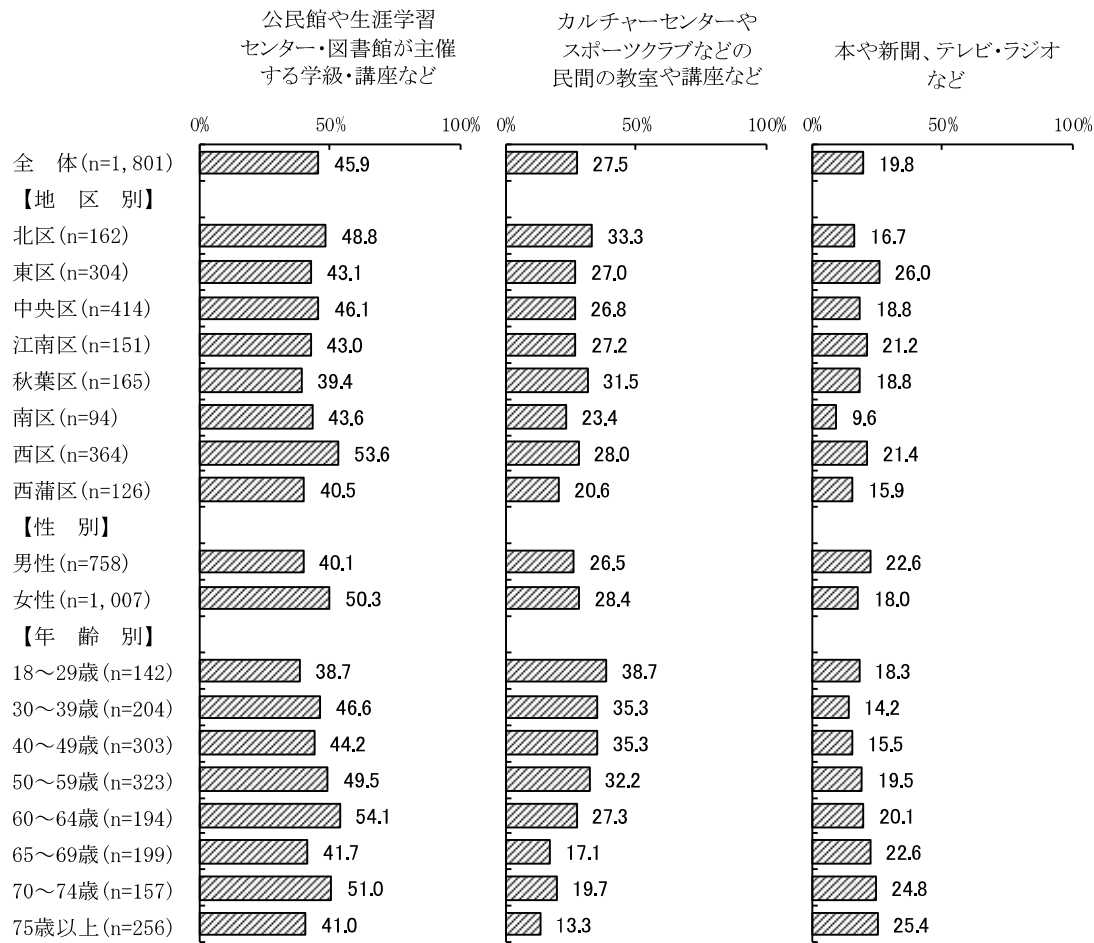
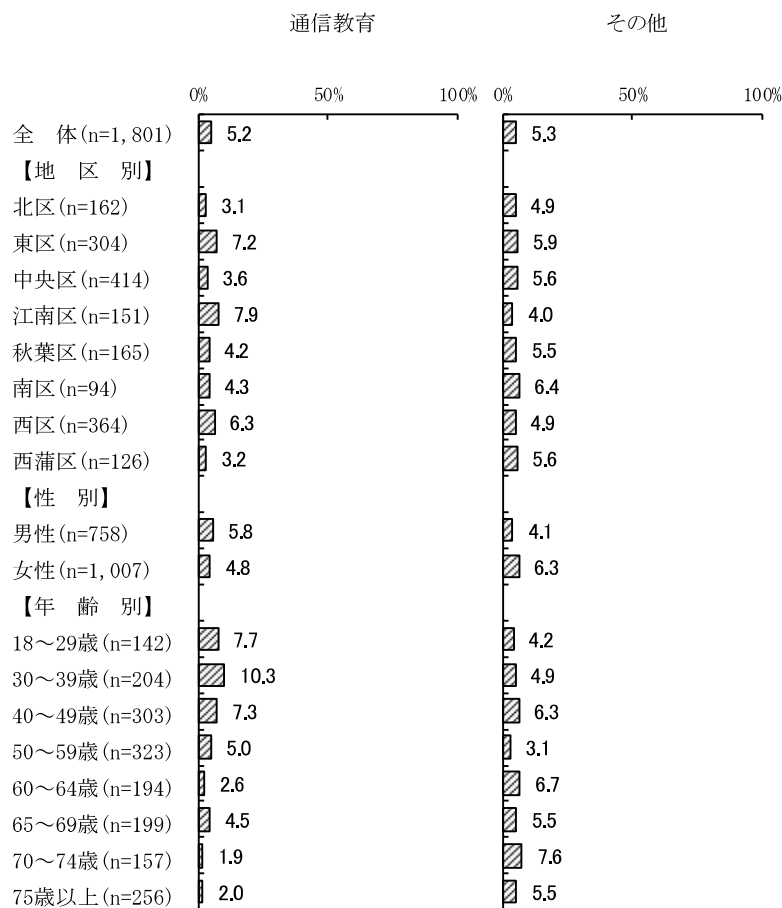
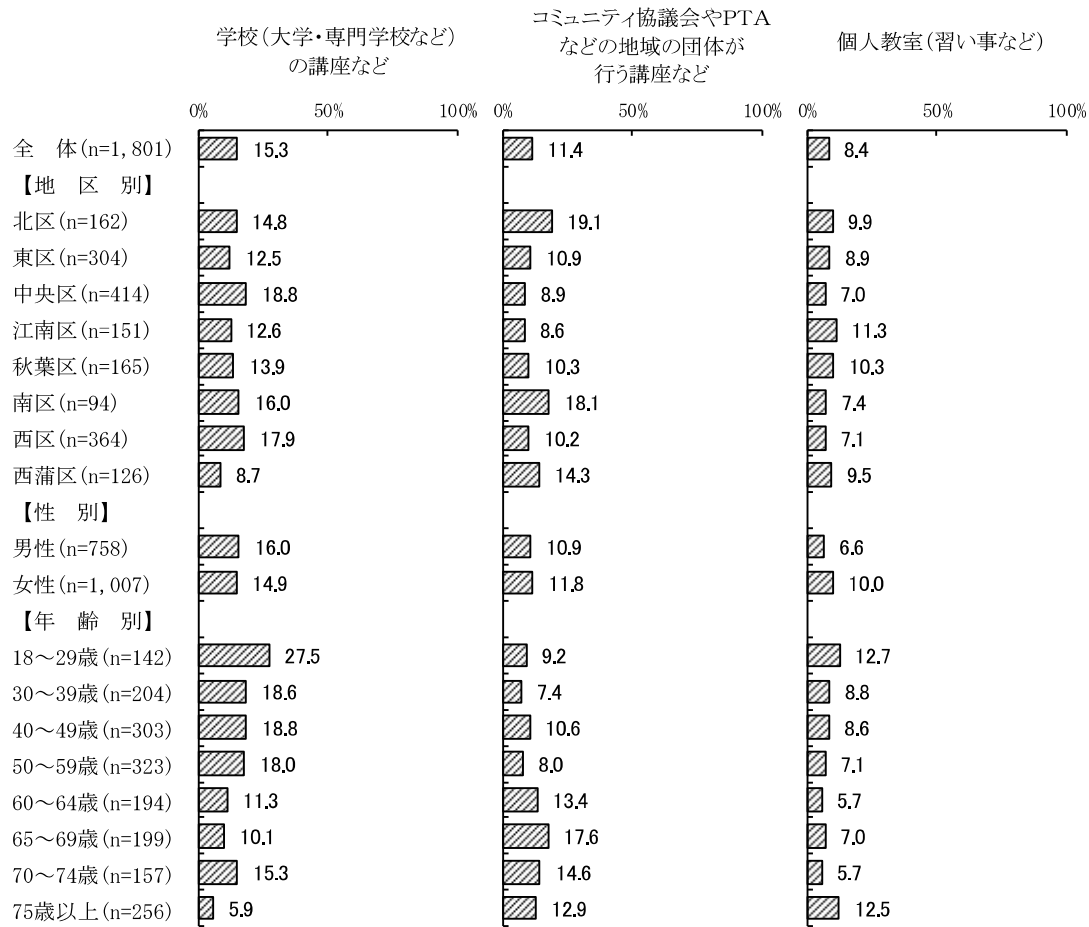
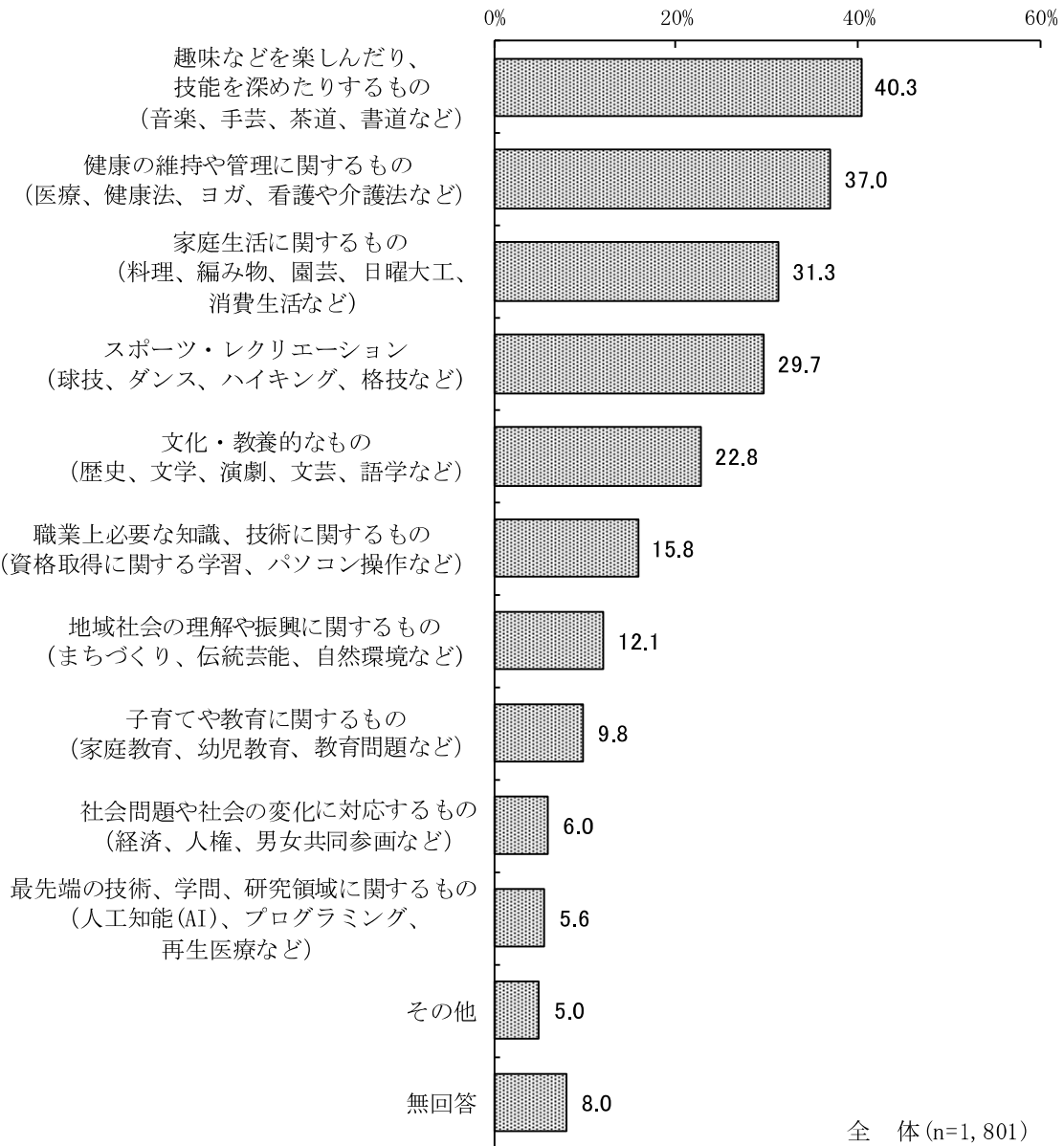


図3-7 充実してほしい学習の場や学習方法（地区別／性別／年齢別） 2/2



(8) 行ってみたい生涯学習活動

問21 あなたが、これから生涯学習活動として行ってみたいと思っていることはありますか。  
(〇はいくつでも)



「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの」が約4割

【全体結果】

行ってみたい生涯学習活動については、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」(40.3%)の割合が最も高くなっている。以下、「健康の維持や管理に関するもの（医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など）」(37.0%)、「家庭生活に関するもの（料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など）」(31.3%)が3割台、「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」(29.7%)、「文化・教養的なもの（歴史、文学、演劇、文芸、語学など）」(22.8%)が2割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 3-8 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」については、秋葉区（43.6%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」、「健康の維持や管理に関するもの（医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など）」、「家庭生活に関するもの（料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など）」、「子育てや教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」では、いずれも女性が男性を5ポイント以上上回っている。「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」と「地域社会の理解や振興に関するもの（まちづくり、伝統芸能、自然環境など）」では、いずれも男性が女性を5ポイント以上上回っている。

### ③ 年齢別

「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」「最先端の技術、学問、研究領域に関するもの（人工知能(AI)、プログラミング、再生医療など）」は18～29歳（それぞれ58.5%、46.5%、12.0%）が、「子育てや教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」は30代（26.5%）が、「職業上必要な知識、技術に関するもの（資格取得に関する学習、パソコン操作など）」は40代以下が、「文化・教養的なもの（歴史、文学、演劇、文芸、語学など）」は50代（29.4%）が、「健康の維持や管理に関するもの（医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など）」「地域社会の理解や振興に関するもの（まちづくり、伝統芸能、自然環境など）」は65～69歳（それぞれ41.7%、17.1%）が、それぞれ高くなっている。



図3-8 行ってみたい生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 1/2

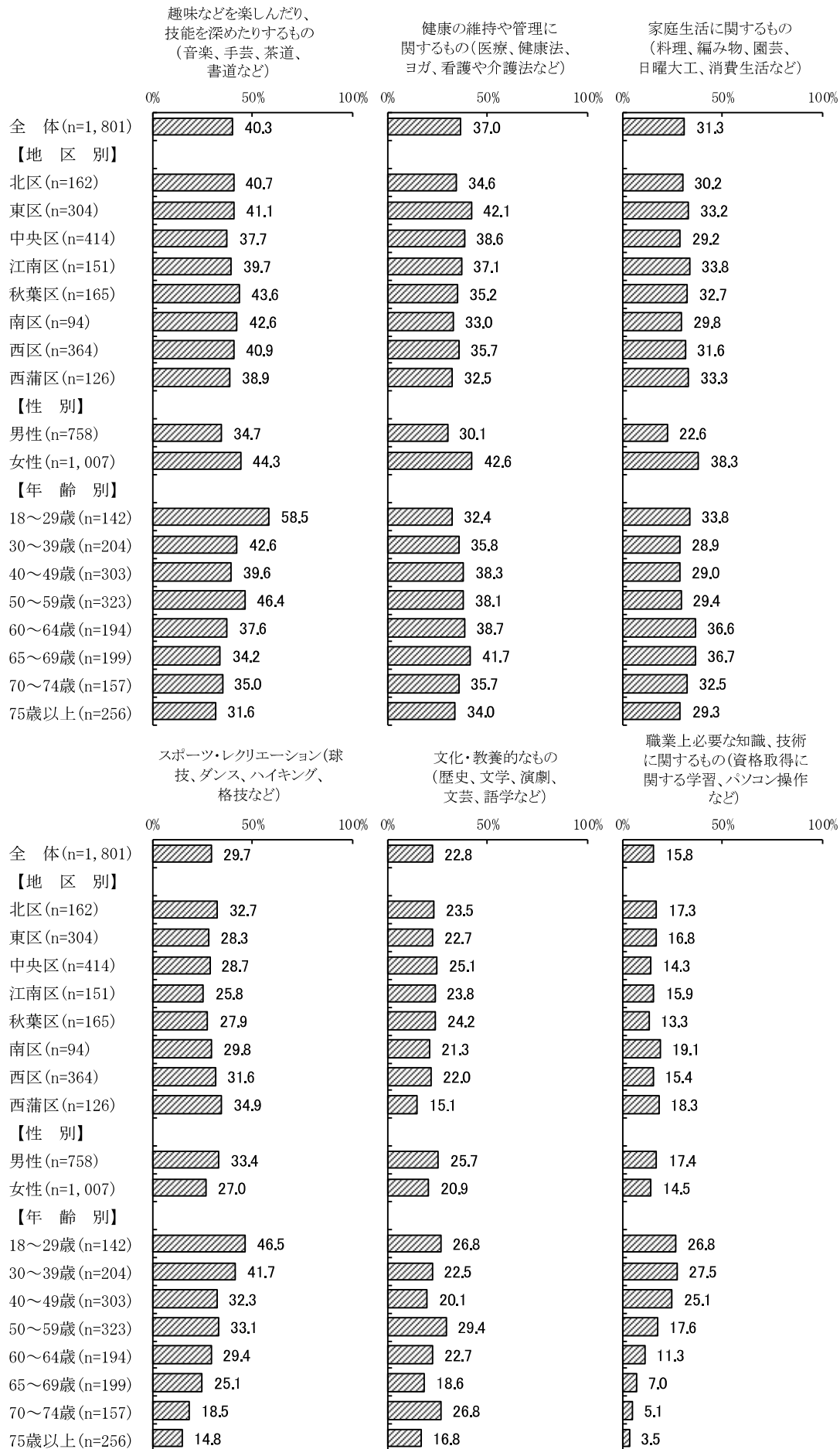


図3-8 行ってみたい生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 2/2

